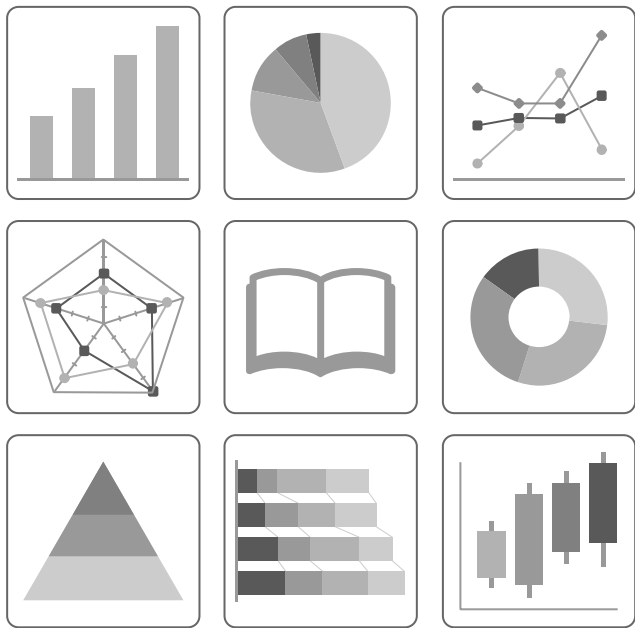


東金市 「障がい福祉」に関するアンケート調査 調査結果報告書



令和2年9月

東 金 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果	2
1	手帳所持者.....	2
	(1) 回答者属性.....	2
	(2) 障がいについて.....	6
	(3) 日常生活について.....	12
	(4) 日中活動や就労・就学について.....	24
	(5) 相談・情報について.....	31
	(6) 障がい福祉サービスなどの利用について.....	34
	(7) 権利擁護について.....	39
	(8) 災害時の避難について.....	42
	(9) 今後の障がい者施策について.....	44
2	市民.....	45
	(1) 回答者属性.....	45
	(2) 障がいのある人とのかかわりについて.....	46
	(3) 障がい者施策について.....	53

I 調査の概要

1 調査の目的

「第3次障がい者計画」及び「第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」の策定のための基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

手帳所持者：東金市在住の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者の方を無作為抽出

市民：東金市在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和2年7月28日から令和2年8月17日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
手帳所持者	1,000通	482通	48.2%
市民	500通	179通	35.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の設問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

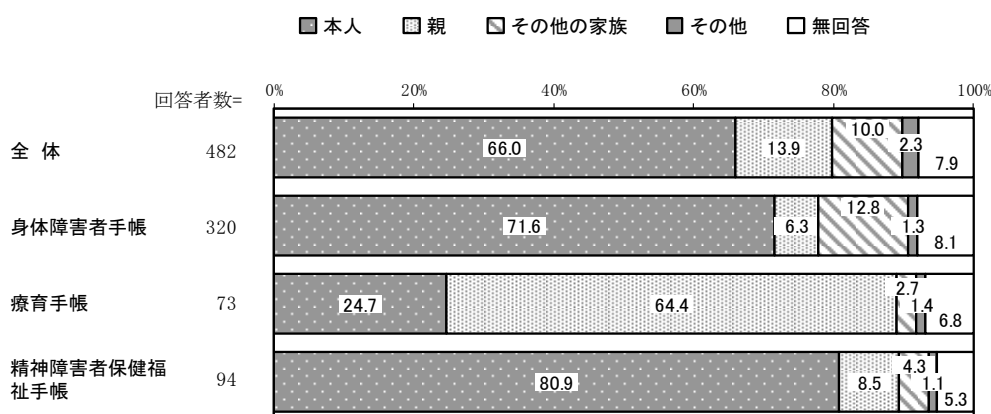
1 手帳所持者

(1) 回答者属性

アンケートにご記入していただく方はどなたですか。(1つに○印)

「本人」の割合が66.0%と最も高く、次いで「親」の割合が13.9%、「その他の家族」の割合が10.0%となっています。

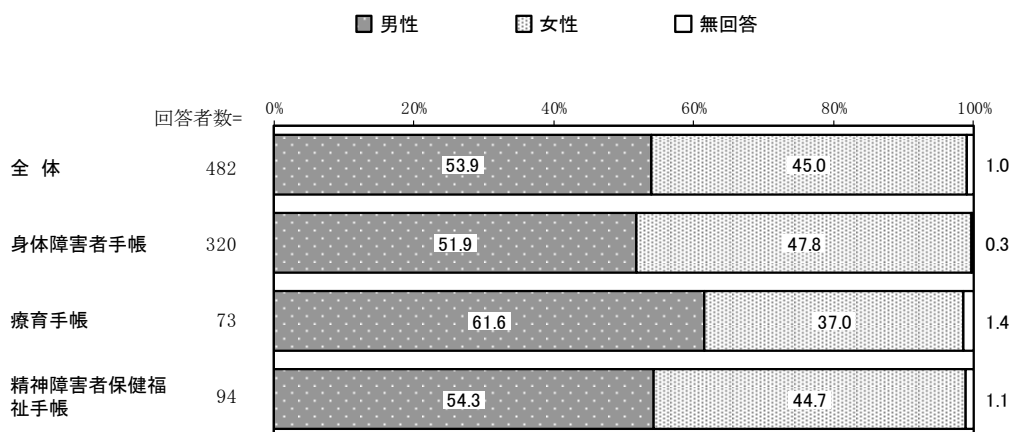
所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「本人」の割合が、療育手帳で「親」の割合が高くなっています。



問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○印)

「男性」の割合が53.9%、「女性」の割合が45.0%となっています。

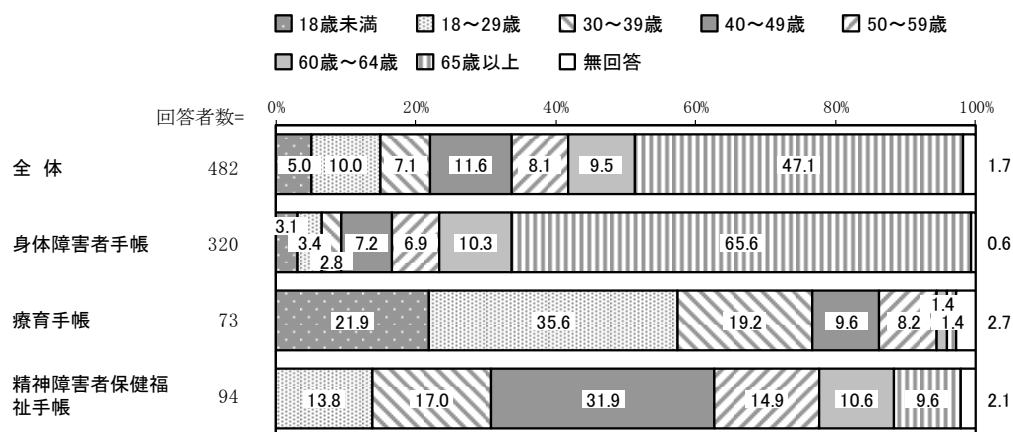
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「男性」の割合が、身体障害者手帳で「女性」の割合が高くなっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。

「65歳以上」の割合が47.1%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が11.6%、「18～29歳」の割合が10.0%となっています。

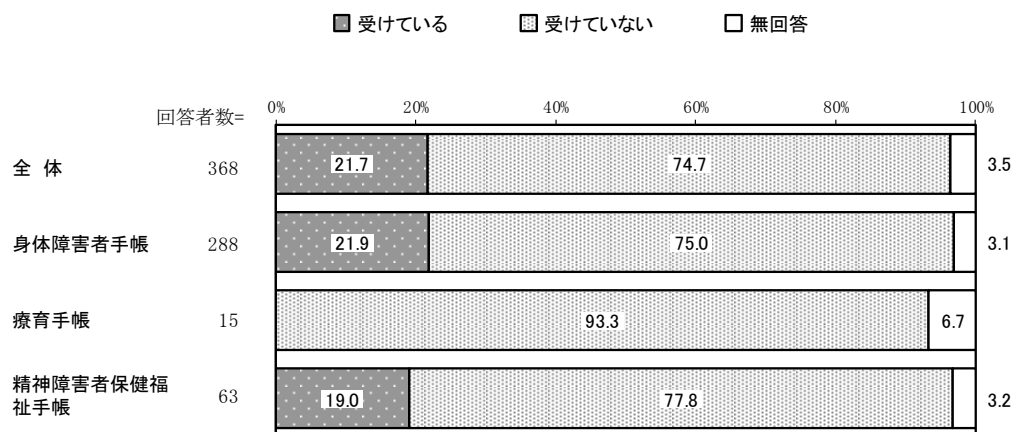
所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳で「65歳以上」の割合が、療育手帳で「18～29歳」の割合が高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳で「40～49歳」の割合が高くなっています。



問3 40歳以上の方にお聞きします。あなたは介護保険のサービスを受けていますか。(1つに○印)

「受けている」の割合が21.7%、「受けていない」の割合が74.7%となっています。

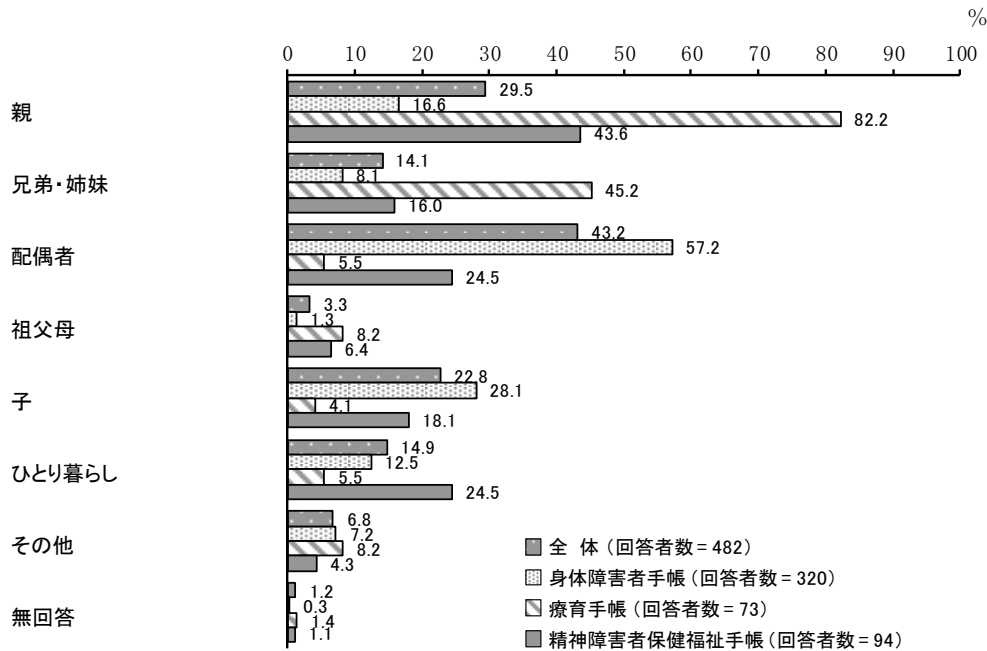
所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「受けている」の割合が高くなっています。



問4 あなたは誰と生活していますか。(あてはまるものすべてに○印)

「配偶者」の割合が43.2%と最も高く、次いで「親」の割合が29.5%、「子」の割合が22.8%となっています。

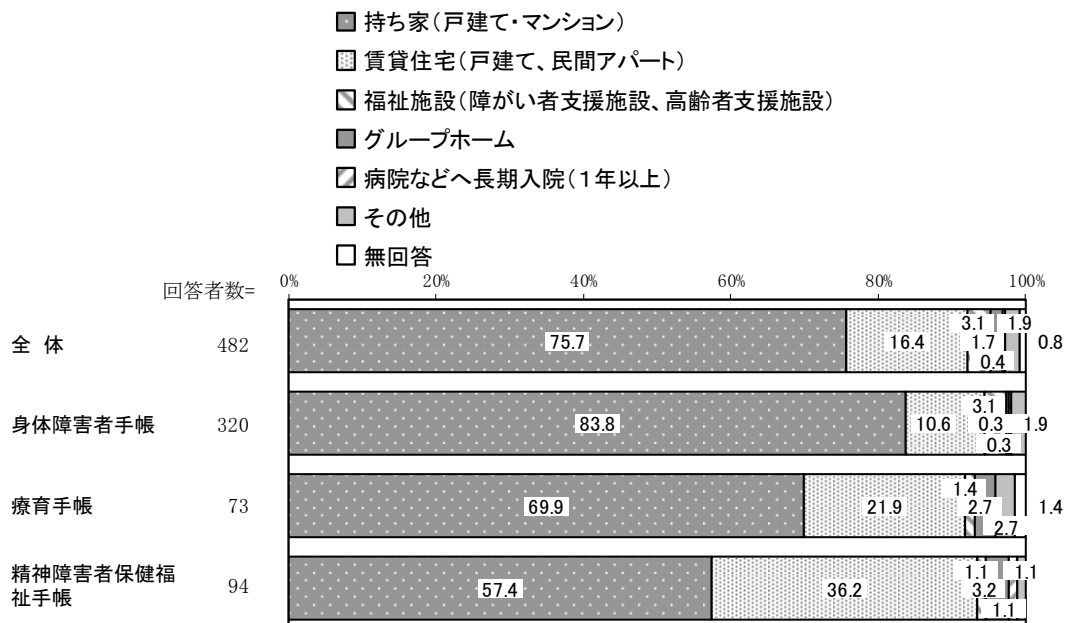
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「親」の割合が、身体障害者手帳で「配偶者」の割合が高くなっています。



問5 あなたの現在のお住まいは、次のどれですか。(1つに○印)

「持ち家(戸建て・マンション)」の割合が75.7%と最も高く、次いで「賃貸住宅(戸建て、民間アパート)」の割合が16.4%となっています。

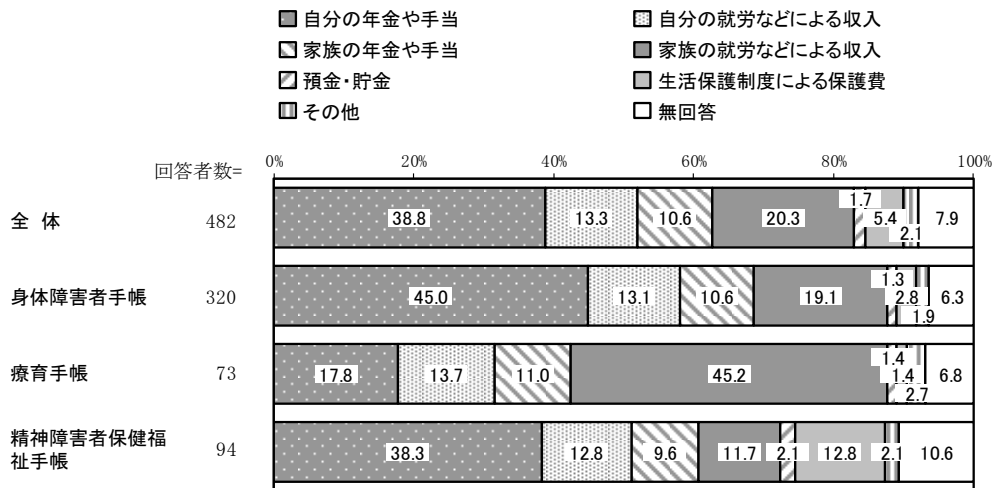
所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳で「持ち家(戸建て・マンション)」の割合が高くなっています。



問6 あなたの生活費は、主に次のどれから充てられていますか。(1つに○印)

「自分の年金や手当」の割合が38.8%と最も高く、次いで「家族の就労などによる収入」の割合が20.3%、「自分の就労などによる収入」の割合が13.3%となっています。

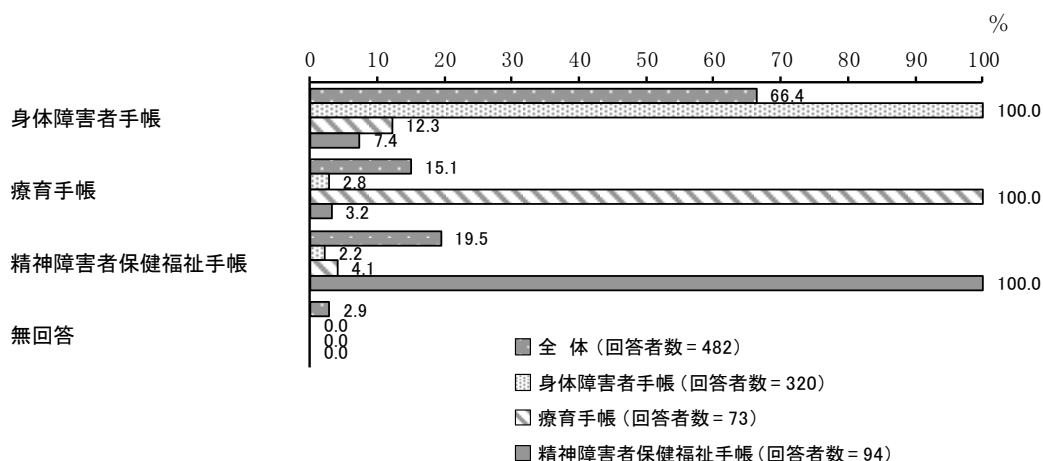
所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「家族の就労などによる収入」の割合が、身体障害者手帳で「自分の年金や手当」の割合が高くなっています。



(2) 障がいについて

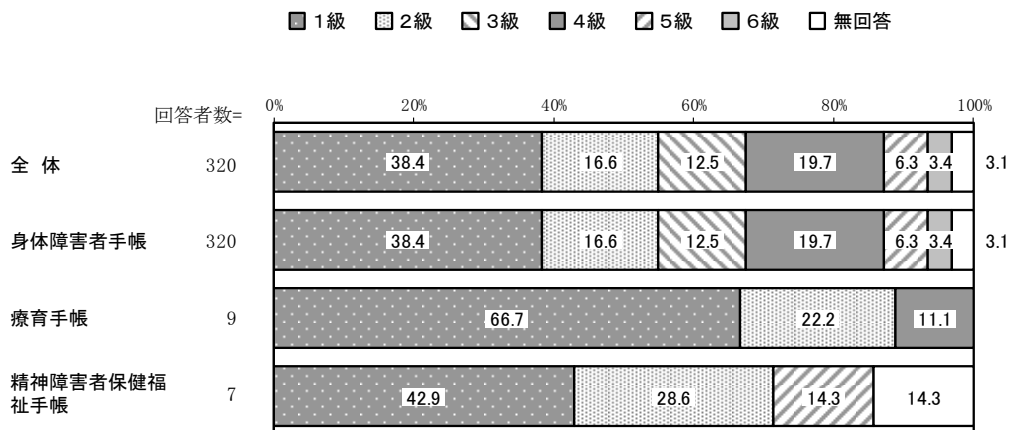
問1 あなたがお持ちの障がい者手帳は次のどれですか。また、お持ちの手帳について、あてはまる等級（程度）はどれですか。

「身体障害者手帳」の割合が66.4%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」の割合が19.5%、「療育手帳」の割合が15.1%となっています。



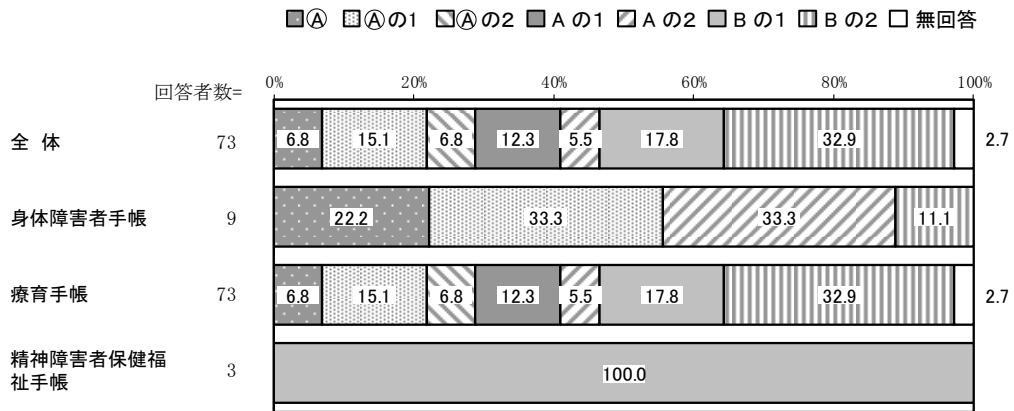
身体障害者手帳

「1級」の割合が38.4%と最も高く、次いで「4級」の割合が19.7%、「2級」の割合が16.6%となっています。



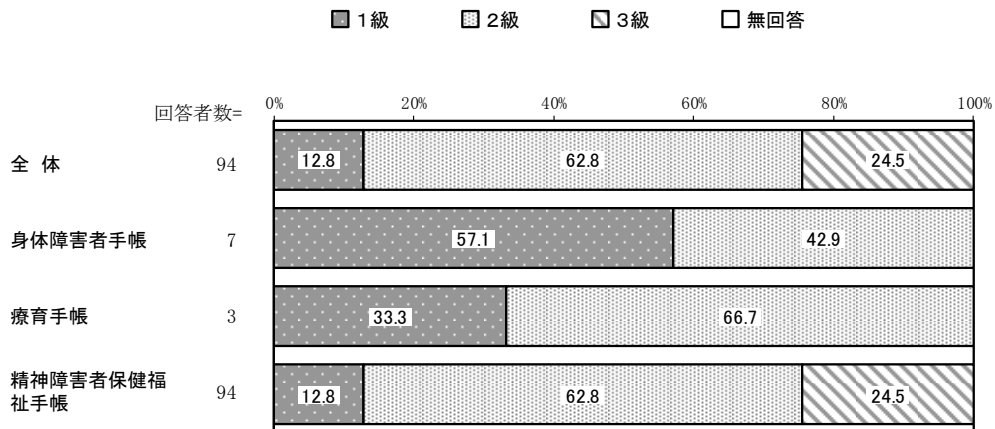
療育手帳

「Bの2」の割合が32.9%と最も高く、次いで「Bの1」の割合が17.8%、「Aの1」の割合が15.1%となっています。



精神障害者保健福祉手帳

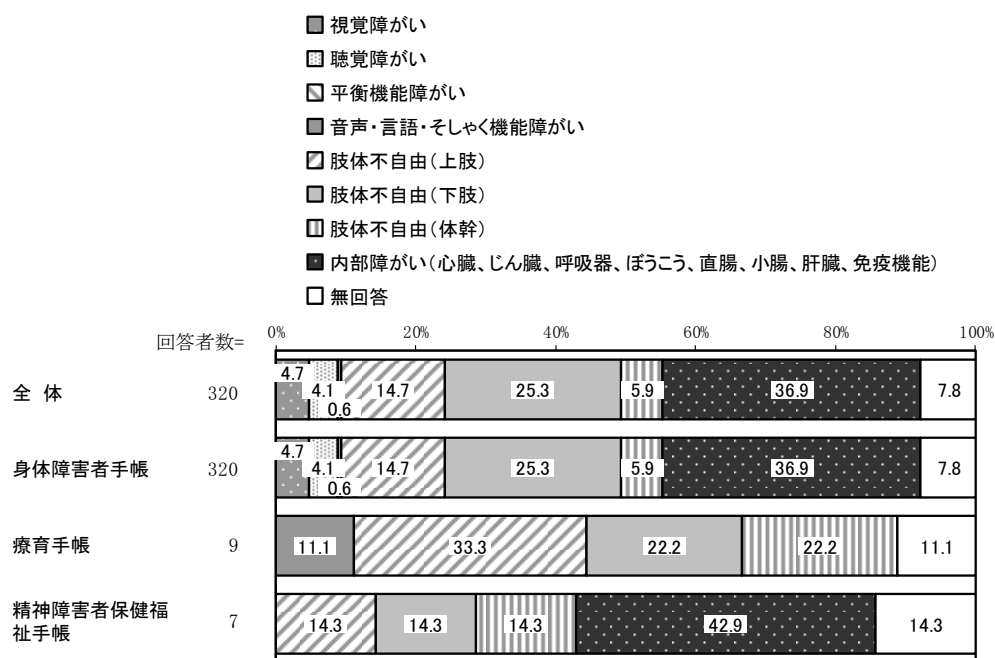
「2級」の割合が62.8%と最も高く、次いで「3級」の割合が24.5%、「1級」の割合が12.8%となっています。



問1で「1. 身体障害者手帳」と答えた方にお聞きします。

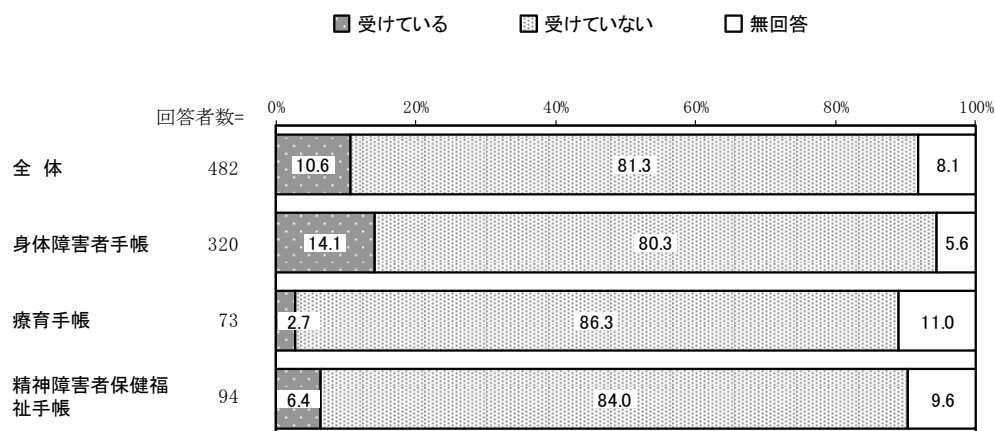
問2 あなたの身体障がいの種類は、次のどれですか。障がいが重複している場合は、重い方に○をつけてください。(1つに○印)

「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫機能)」の割合が36.9%と最も高く、次いで「肢体不自由(下肢)」の割合が25.3%、「肢体不自由(上肢)」の割合が14.7%となっています。



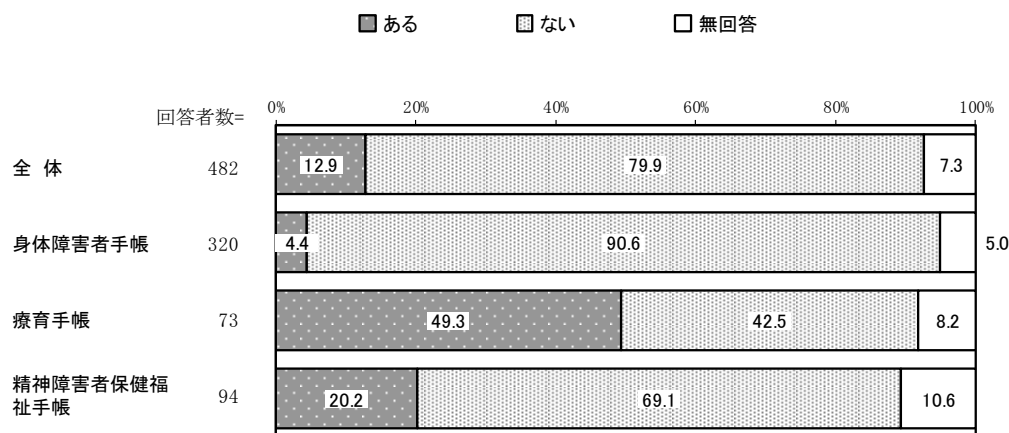
問3 あなたは難病の認定を受けていますか。(1つに○印)

「受けている」の割合が10.6%、「受けていない」の割合が81.3%となっています。所持手帳別でみると、他に比べ、身体障害者手帳で「受けている」の割合が高くなっています。



問4 あなたは発達障がいとして診断されたことはありますか。(1つに○印)

「ある」の割合が12.9%、「ない」の割合が79.9%となっています。
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「ある」の割合が高くなっています。

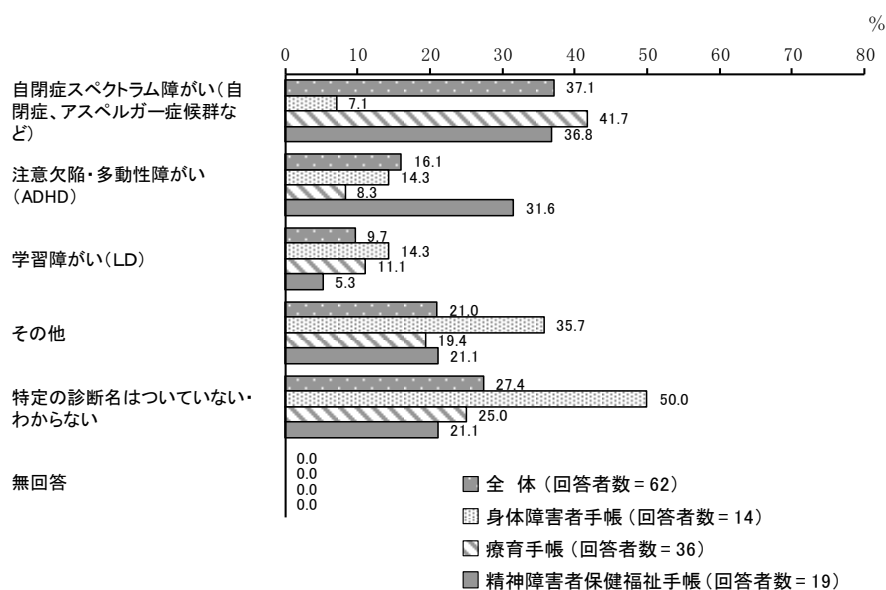


問4で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問5 診断名は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○印)

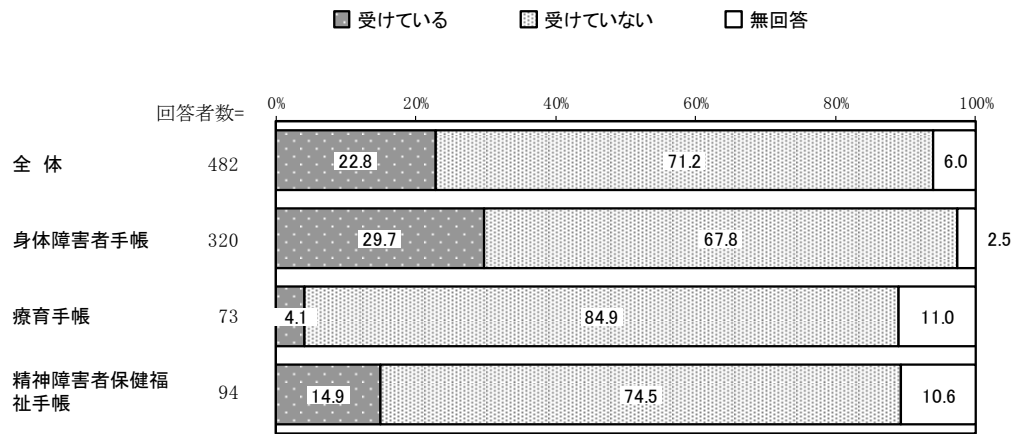
「自閉症スペクトラム障がい(自閉症、アスペルガー症候群など)」の割合が37.1%と最も高く、次いで「特定の診断名はついていない・わからない」の割合が27.4%、「注意欠陥・多動性障がい(ADHD)」の割合が16.1%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳で「特定の診断名はついていない・わからない」の割合が、療育手帳で「自閉症スペクトラム障がい(自閉症、アスペルガー症候群など)」の割合が高くなっています。



問6 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。(1つに○印)

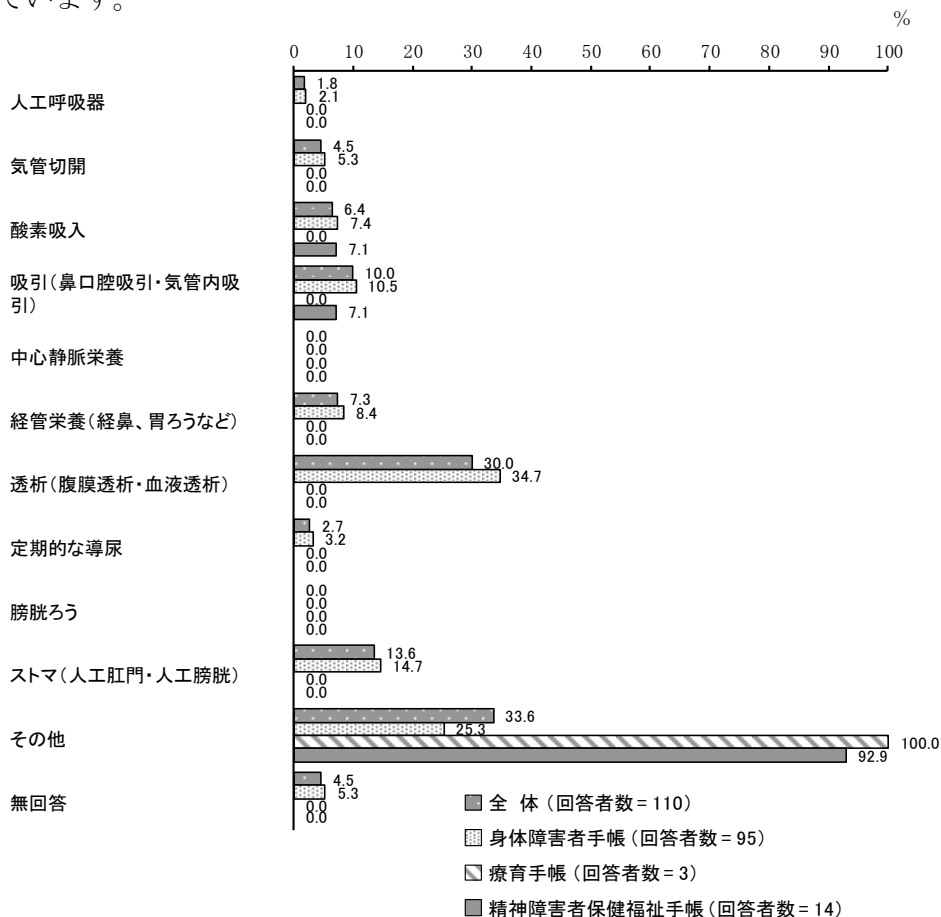
「受けている」の割合が22.8%、「受けていない」の割合が71.2%となっています。
所持手帳別でみると、他に比べ、身体障害者手帳で「受けている」の割合が高くなっています。



問6で「1. 受けている」と答えた方にお聞きします。

問7 あなたは現在どのような医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに○印)

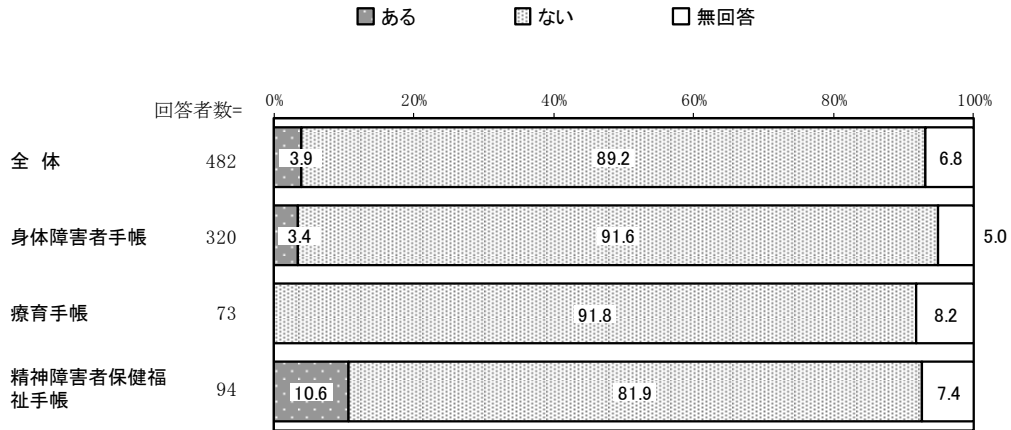
「透析(腹膜透析・血液透析)」の割合が30.0%と最も高く、次いで「ストマ(人工肛門・人工膀胱)」の割合が13.6%、「吸引(鼻口腔吸引・気管内吸引)」の割合が10.0%となっています。
所持手帳別でみると、他に比べ、身体障害者手帳で「透析(腹膜透析・血液透析)」の割合が高くなっています。



問 8 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。(1つに○印)

「ある」の割合が3.9%、「ない」の割合が89.2%となっています。

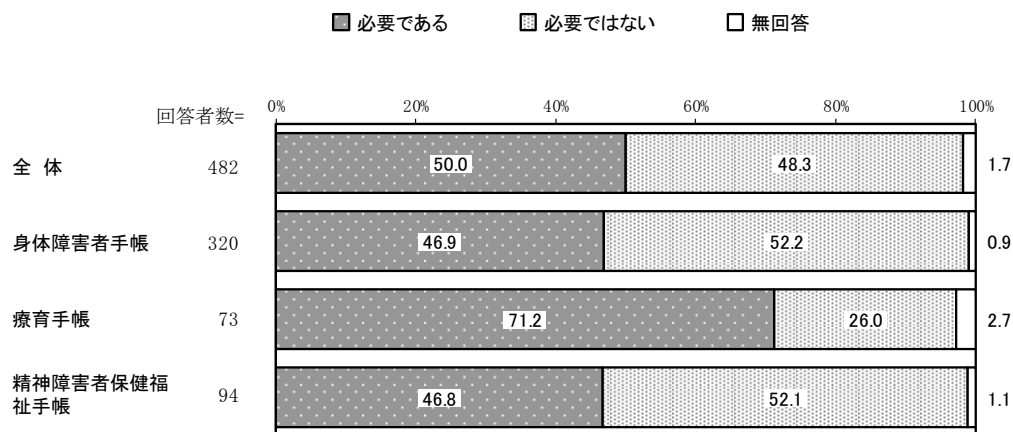
所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「ある」の割合が高くなっています。



(3) 日常生活について

問1 あなたは日常生活を送るうえで介助・支援が必要ですか。(1つに○印)

「必要である」の割合が50.0%、「必要ではない」の割合が48.3%となっています。
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「必要である」の割合が高くなっています。

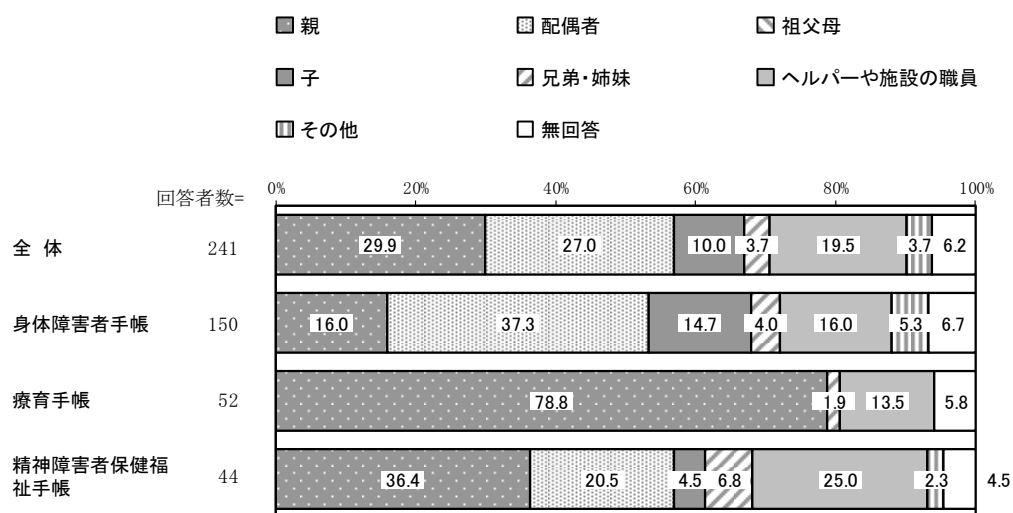


問1で「1. 必要である」と答えた方にお聞きします。

問2 主な介助・支援者はどなたですか。(1つに○印)

「親」の割合が29.9%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が27.0%、「ヘルパーや施設の職員」の割合が19.5%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「親」の割合が高くなっています。

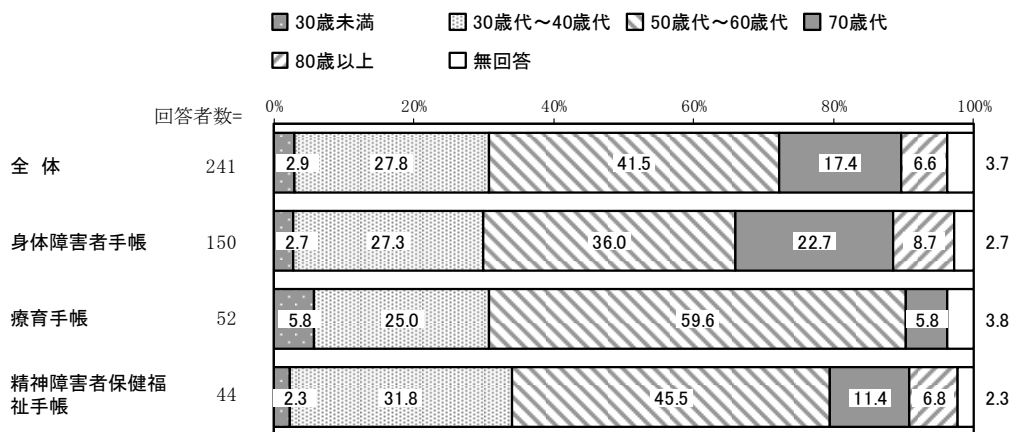


問1で「1. 必要である」と答えた方にお聞きします。

問3 主な介助・支援者の年齢はおいくつですか。(1つに○印)

「50歳代～60歳代」の割合が41.5%と最も高く、次いで「30歳代～40歳代」の割合が27.8%、「70歳代」の割合が17.4%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「50歳代～60歳代」の割合が高くなっています。

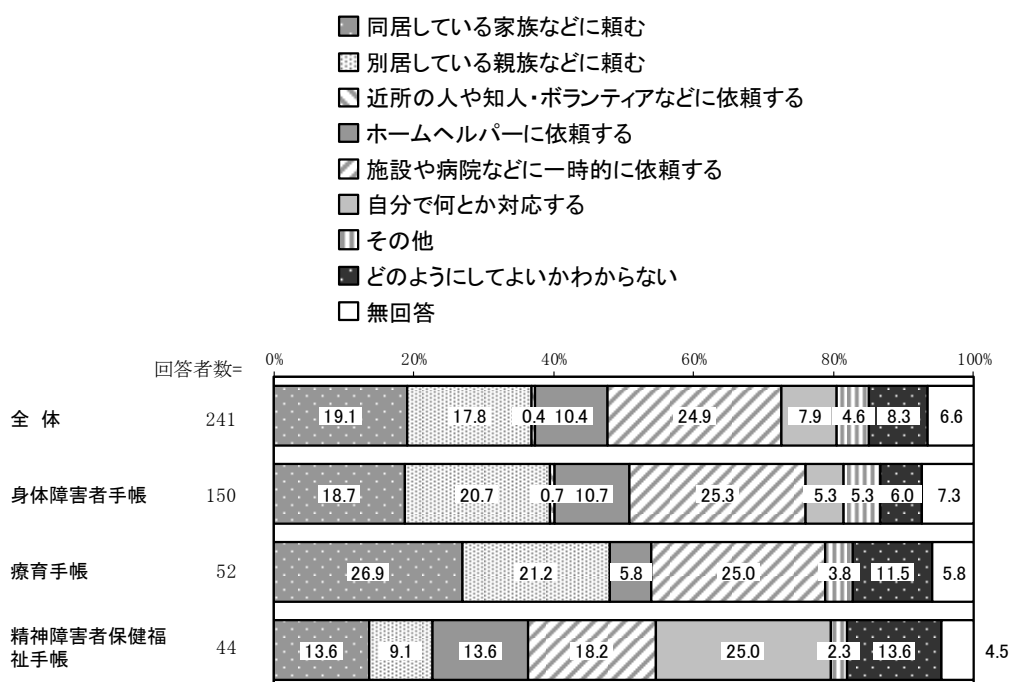


問1で「1. 必要である」と答えた方にお聞きします。

問4 主な介助・支援者が、万一急病や事故、用事などのために一時的に介助や支援ができなくなった場合、どのようにしますか。(1つに○印)

「施設や病院などに一時的に依頼する」の割合が24.9%と最も高く、次いで「同居している家族などに頼む」の割合が19.1%、「別居している親族などに頼む」の割合が17.8%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「同居している家族などに頼む」の割合が高くなっています。



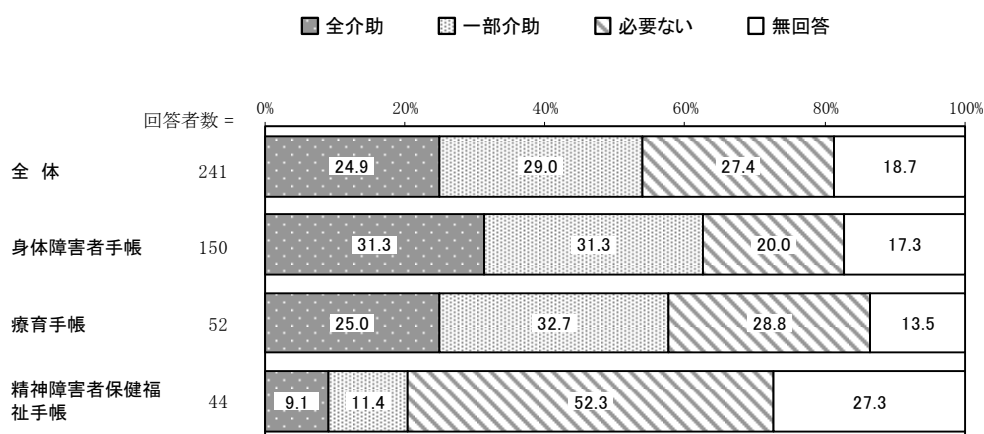
問1で「1. 必要である」と答えた方にお聞きします。

問5 どのような介助・支援が必要ですか。

1. 入浴

「一部介助」の割合が29.0%と最も高く、次いで「必要ない」の割合が27.4%、「全介助」の割合が24.9%となっています。

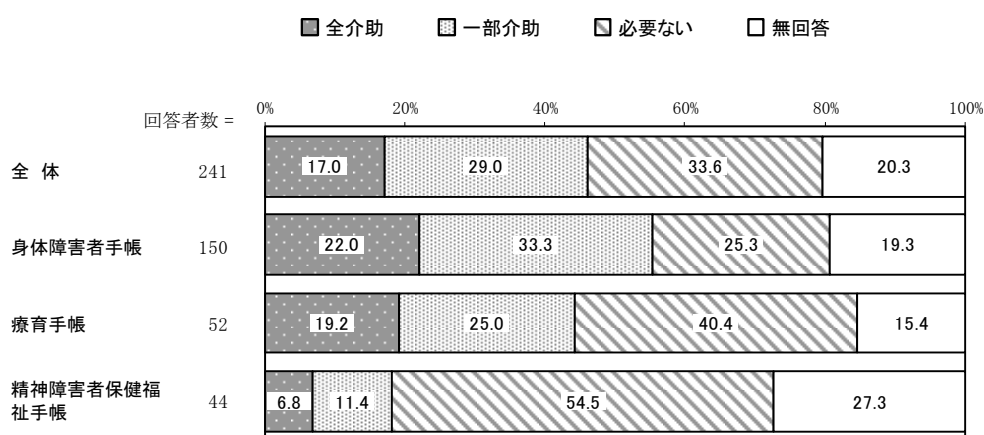
所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「必要ない」の割合が高くなっています。



2. 衣服の着脱

「必要ない」の割合が33.6%と最も高く、次いで「一部介助」の割合が29.0%、「全介助」の割合が17.0%となっています。

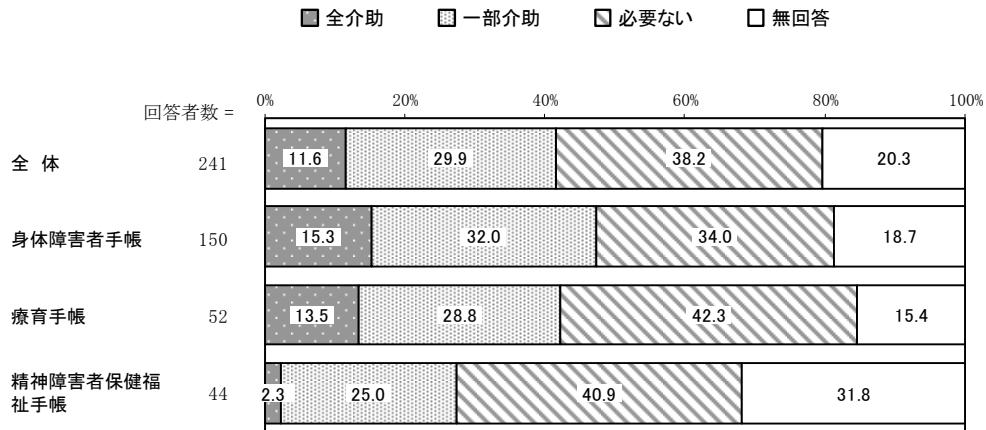
所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「必要ない」の割合が高くなっています。



3. 食事

「必要ない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「一部介助」の割合が29.9%、「全介助」の割合が11.6%となっています。

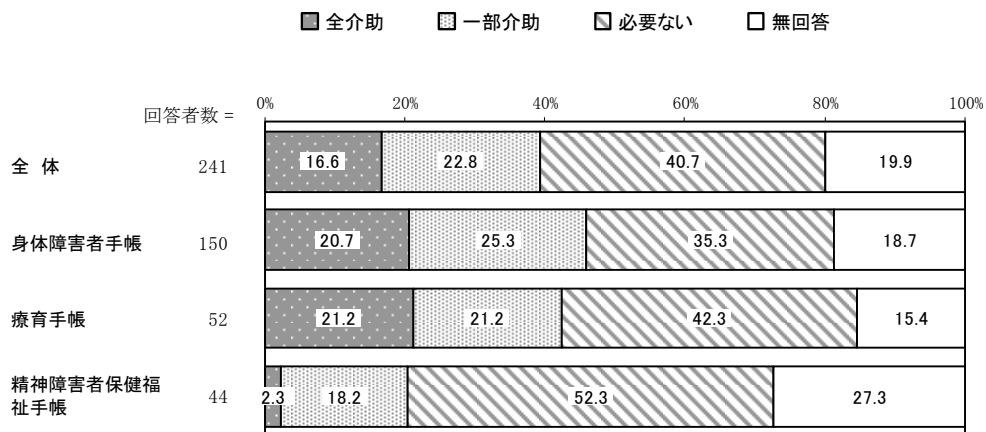
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳で「必要ない」の割合が高くなっています。



4. トイレ

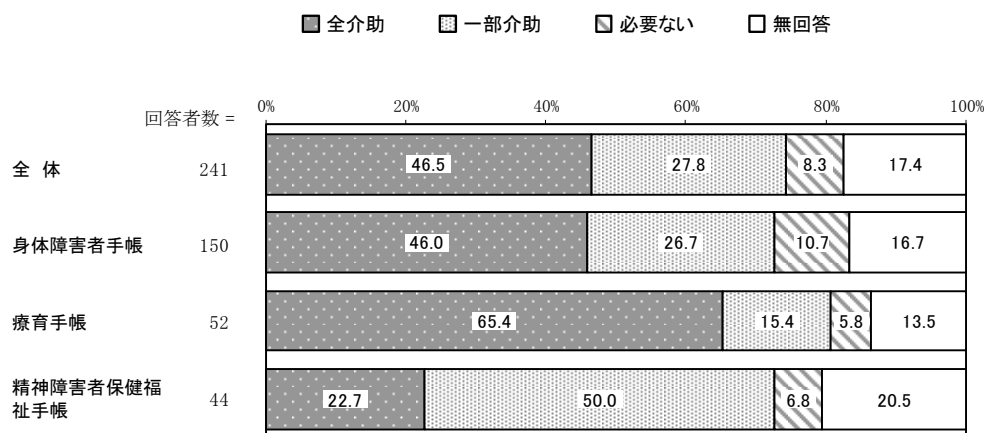
「必要ない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「一部介助」の割合が22.8%、「全介助」の割合が16.6%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「必要ない」の割合が高くなっています。



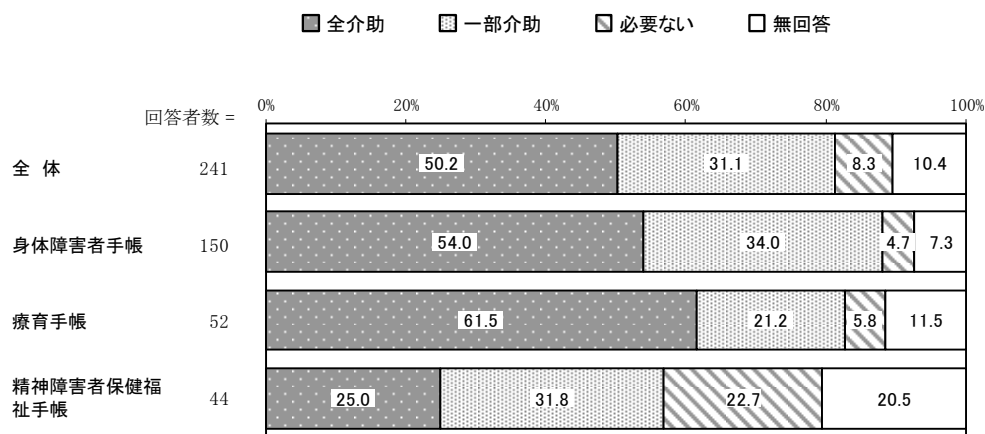
5. 炊事掃除などの家事

「全介助」の割合が46.5%と最も高く、次いで「一部介助」の割合が27.8%となっています。所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「全介助」の割合が高くなっています。



6. 外出の付き添い（通院を含む）、送迎

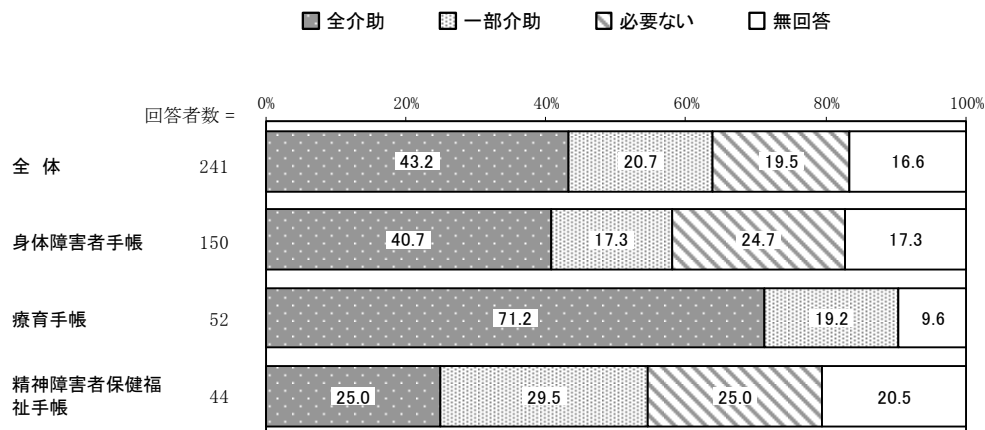
「全介助」の割合が50.2%と最も高く、次いで「一部介助」の割合が31.1%となっています。所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「全介助」の割合が高くなっています。



7. 金銭管理

「全介助」の割合が43.2%と最も高く、次いで「一部介助」の割合が20.7%、「必要ない」の割合が19.5%となっています。

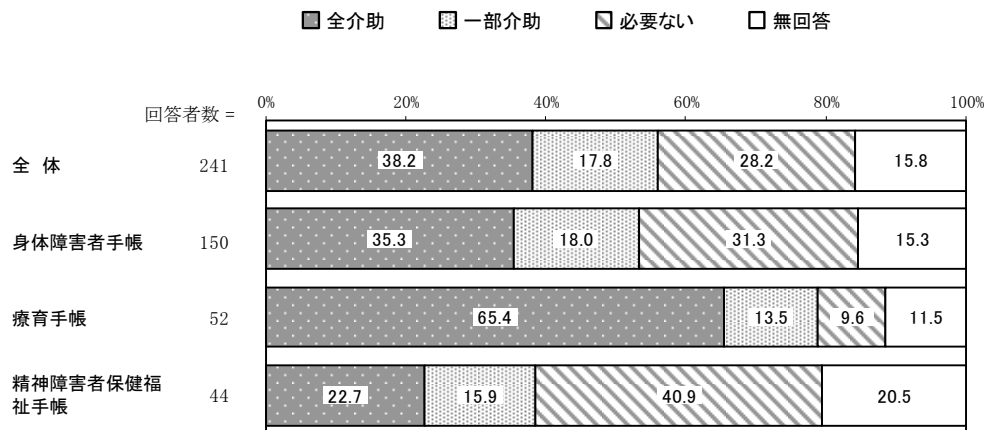
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「全介助」の割合が高くなっています。



8. 服薬管理

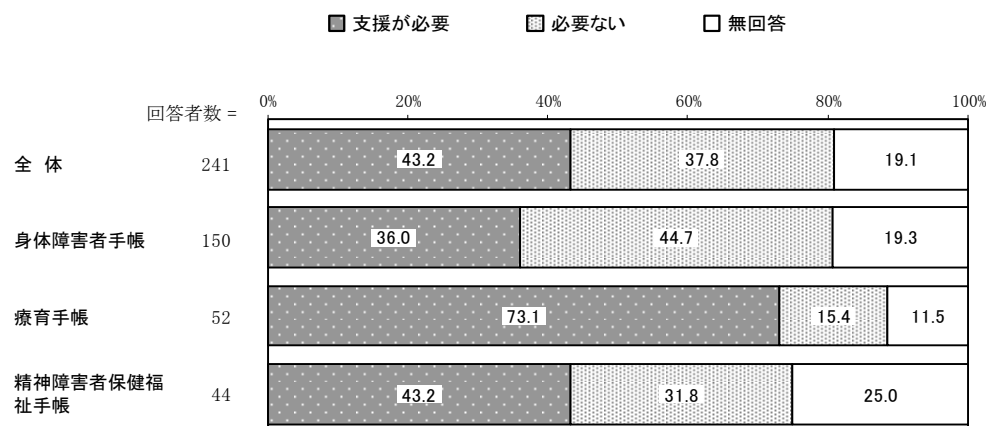
「全介助」の割合が38.2%と最も高く、次いで「必要ない」の割合が28.2%、「一部介助」の割合が17.8%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「全介助」の割合が高くなっています。



9. コミュニケーション

「支援が必要」の割合が43.2%、「必要ない」の割合が37.8%となっています。
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「全介助」の割合が高くなっています。

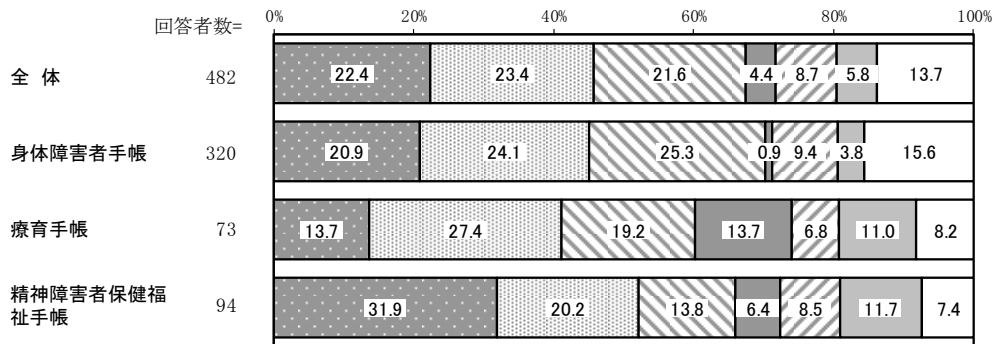


問6 これからの生活をどこでどのように暮らしたいと思いますか。(1つに○印)

「自宅で家族だけの介助で暮らしたい」の割合が23.4%と最も高く、次いで「誰の介助も受けないで暮らしたい」の割合が22.4%、「自宅で福祉サービスなどを利用して暮らしたい」の割合が21.6%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「誰の介助も受けないで暮らしたい」の割合が高くなっています。

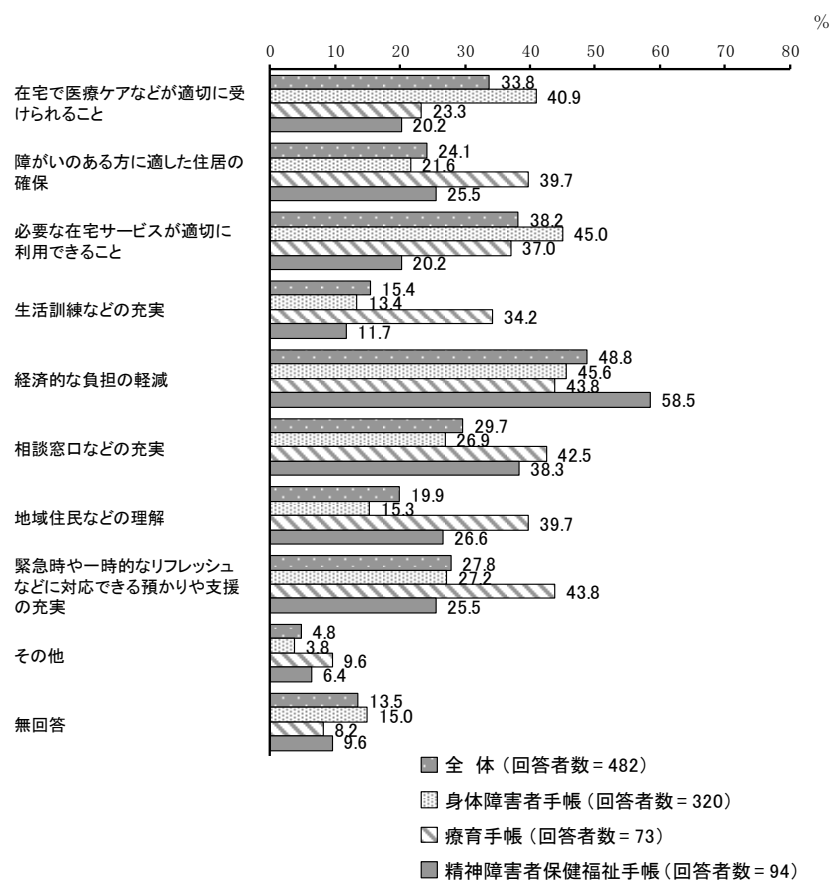
- 誰の介助も受けないで暮らしたい
- ▨ 自宅で家族だけの介助で暮らしたい
- ▩ 自宅で福祉サービスなどを利用して暮らしたい
- グループホームで暮らしたい
- ▨ 福祉施設(障がい者支援施設、高齢者支援施設)へ入所したい
- その他
- 無回答



問7 あなたが地域で生活するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

「経済的な負担の軽減」の割合が48.8%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」の割合が38.2%、「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」の割合が33.8%となっています。

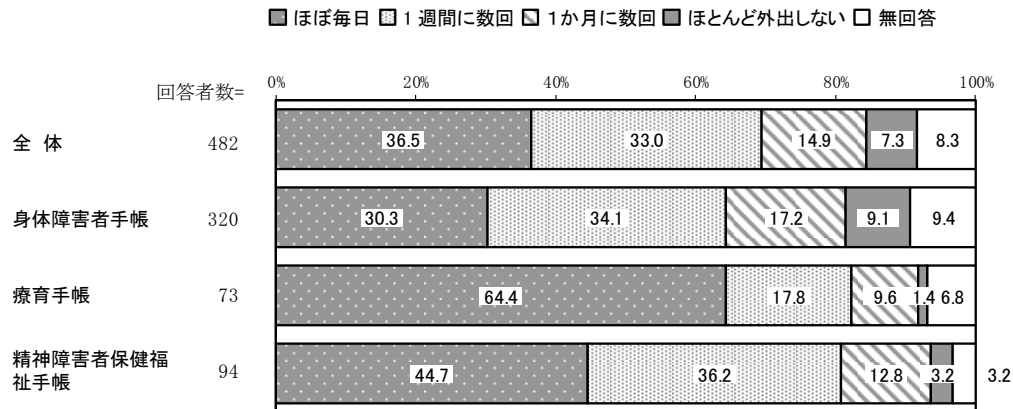
所持手帳別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「経済的な負担の軽減」の割合が高くなっています。



問8 あなたは、どれくらい外出しますか。(1つに○印)

「ほぼ毎日」の割合が36.5%と最も高く、次いで「1週間に数回」の割合が33.0%、「1か月に数回」の割合が14.9%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。

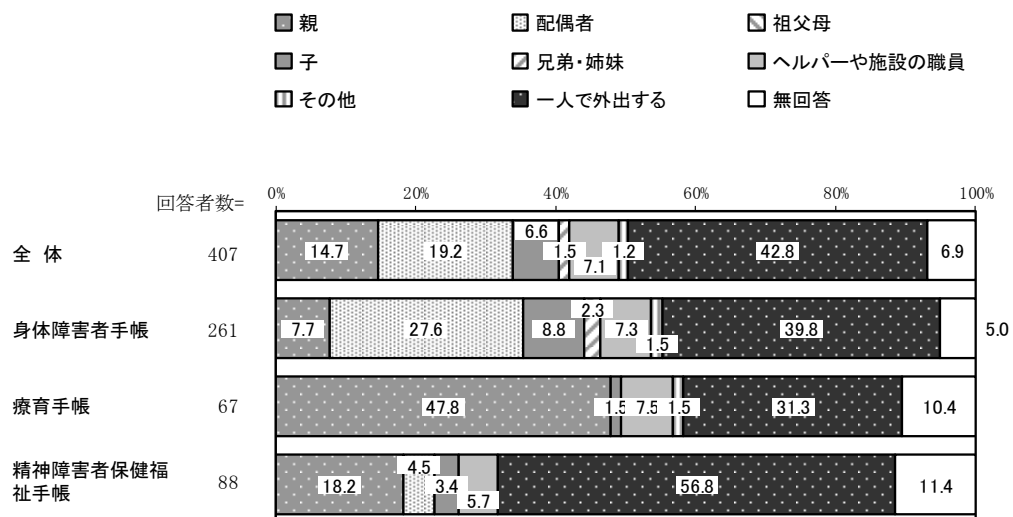


問8で「1. ほぼ毎日」「2. 1週間に数回」「3. 1か月に数回」と答えた方にお聞きします。

問9 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(1つに○印)

「一人で外出する」の割合が42.8%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が19.2%、「親」の割合が14.7%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「一人で外出する」の割合が高くなっています。

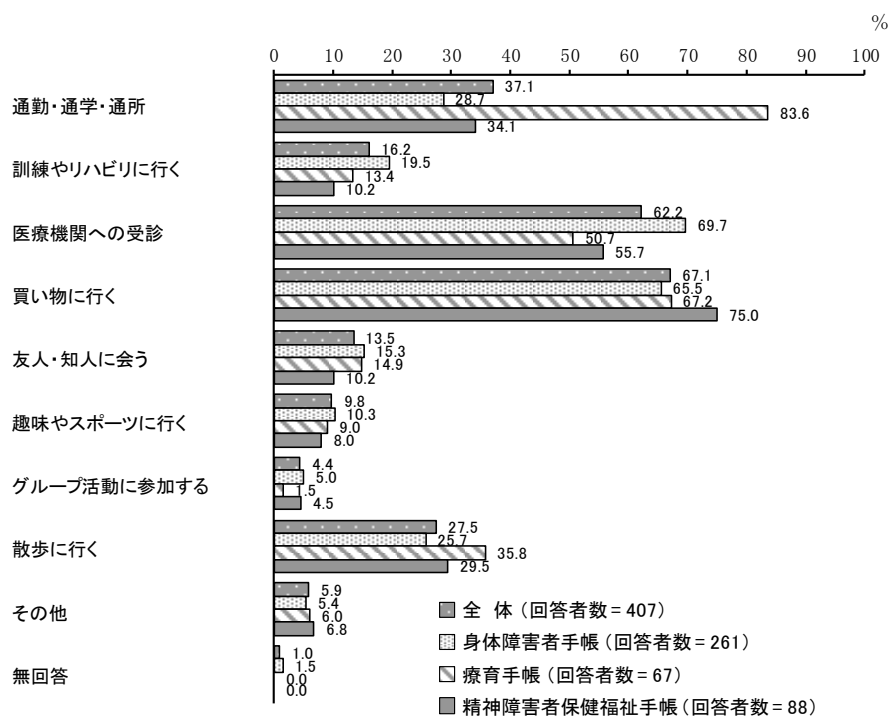


問8で「1. ほぼ毎日」「2. 1週間に数回」「3. 1か月に数回」と答えた方にお聞きします。

問10 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○印)

「買い物に行く」の割合が67.1%と最も高く、次いで「医療機関への受診」の割合が62.2%、「通勤・通学・通所」の割合が37.1%となっています。

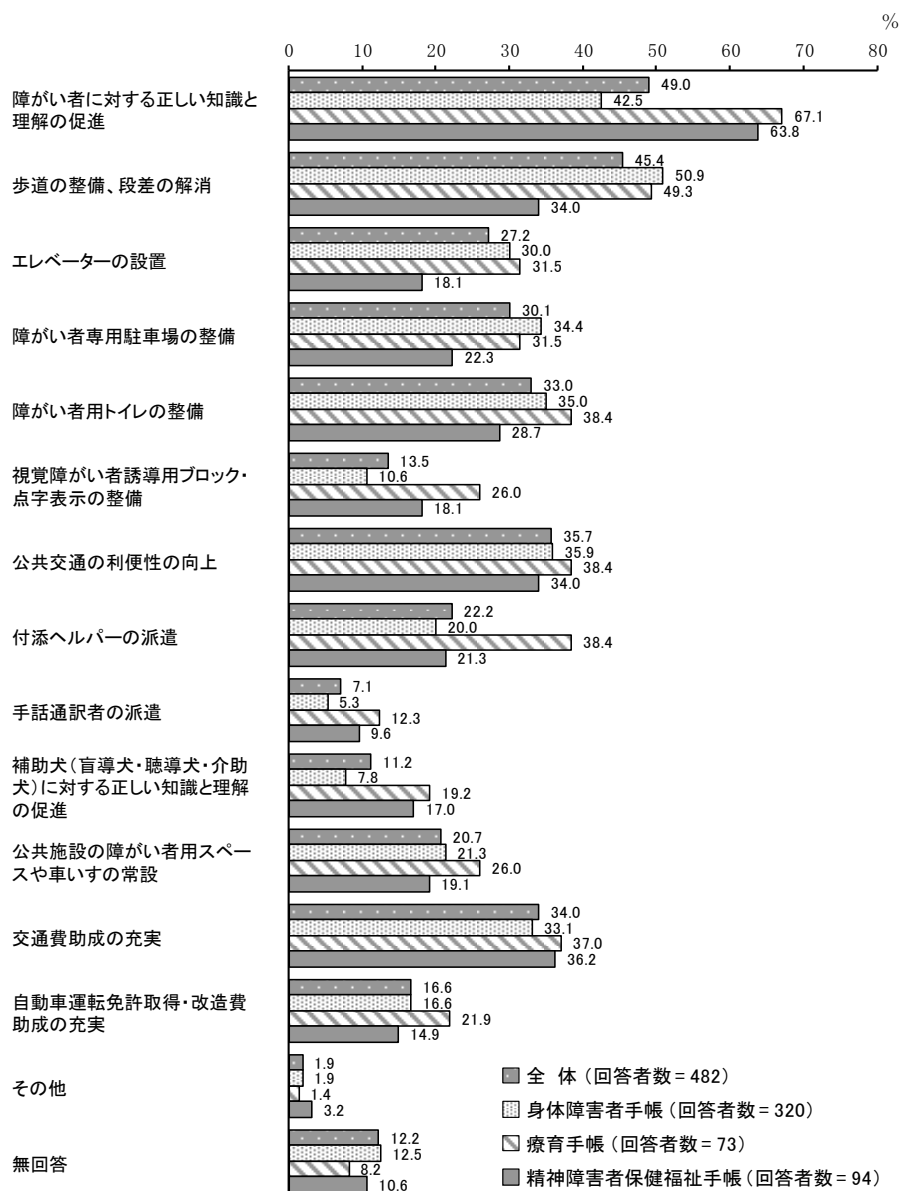
所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「通勤・通学・通所」の割合が高くなっています。



問11 障がいのある方が外出しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

「障がい者に対する正しい知識と理解の促進」の割合が49.0%と最も高く、次いで「歩道の整備、段差の解消」の割合が45.4%、「公共交通の利便性の向上」の割合が35.7%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「障がい者に対する正しい知識と理解の促進」の割合が高くなっています。



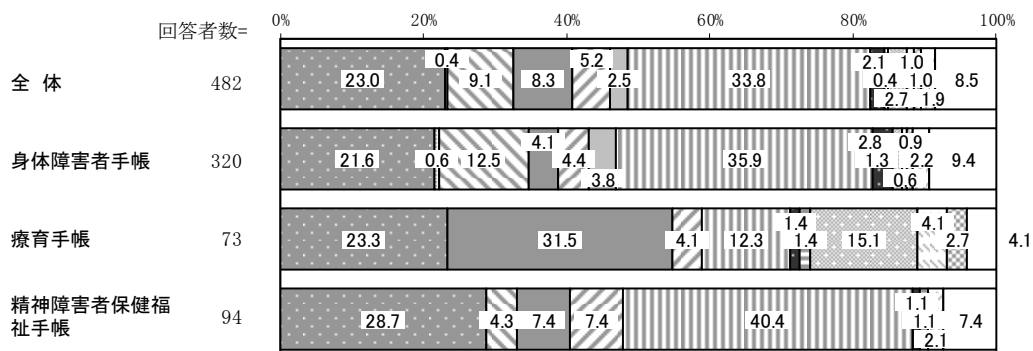
(4) 日中活動や就労・就学について

問1 あなたの日中の過ごし方は、次のどれにあたりますか。(1つに○印)

「自宅で過ごしている」の割合が33.8%と最も高く、次いで「会社勤めや自営業などで収入を得る仕事をしている」の割合が23.0%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「自宅で過ごしている」の割合が高くなっています。

- 会社勤めや自営業などで収入を得る仕事をしている
- ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
- 専業主婦(主夫)をしている
- 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)
- 病院などのデイケアに通っている
- リハビリテーションを受けている
- 自宅で過ごしている
- 入所している施設や病院等で過ごしている
- 大学、専門学校、職業訓練校等に通っている
- 特別支援学校(小中高等部)に通っている
- 一般の高校、小中学校に通っている
- 幼稚園、保育所、障がい児通園施設等に通っている
- その他
- 無回答

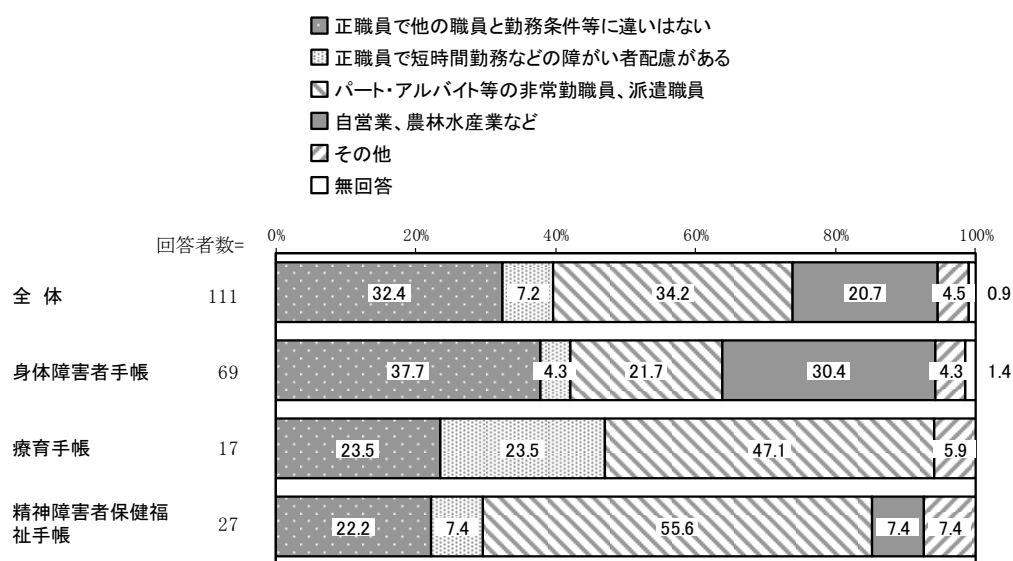


問1で「1. 会社勤めや自営業などで収入を得る仕事をしている」と答えた方にお聞きします。

問2 あなたはどのような勤務形態で働いていますか。(1つに○印)

「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の割合が34.2%と最も高く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」の割合が32.4%、「自営業、農林水産業など」の割合が20.7%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の割合が高くなっています。

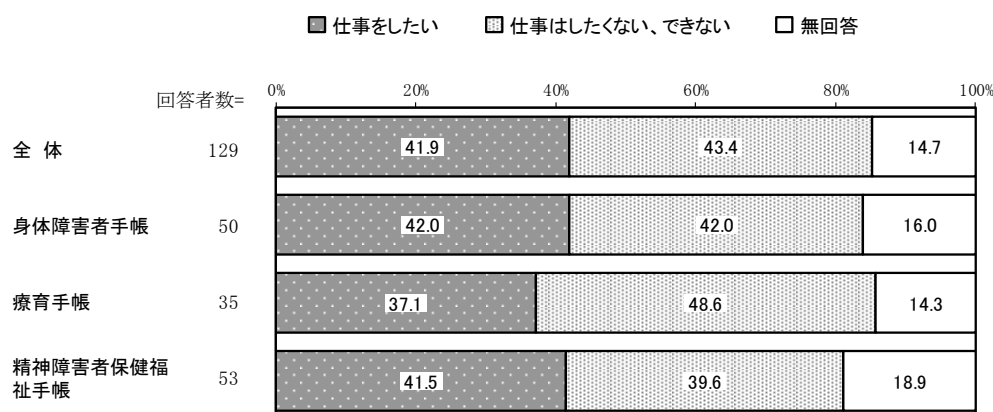


問1で「1. 会社勤めや自営業などで収入を得る仕事をしている」以外を答えた18~64歳の方にお聞きします。

問3 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(1つに○印)

「仕事をしたい」の割合が41.9%、「仕事はしたくない、できない」の割合が43.4%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「仕事はしたくない、できない」の割合が高くなっています。

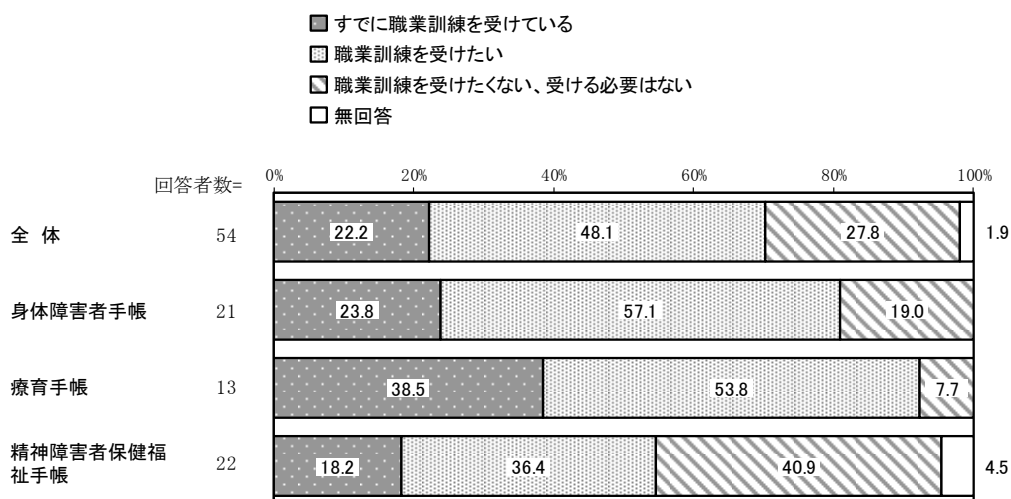


問3で「1. 仕事をしたい」と答えた方にお聞きします。

問4 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(1つに○印)

「職業訓練を受けたい」の割合が48.1%と最も高く、次いで「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」の割合が27.8%、「すでに職業訓練を受けている」の割合が22.2%となっています。

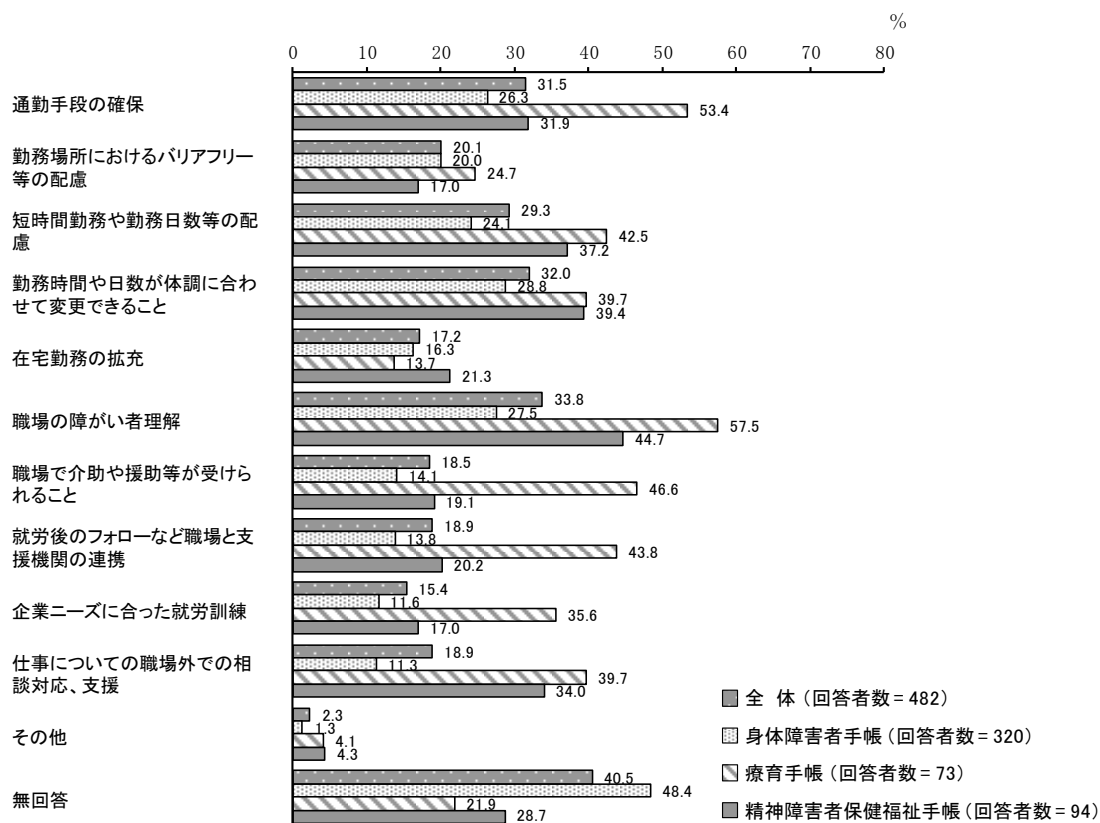
所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳で「職業訓練を受けたい」の割合が高くなっています。



**問5 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○印)**

「職場の障がい者理解」の割合が33.8%と最も高く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」の割合が32.0%、「通勤手段の確保」の割合が31.5%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「職場の障がい者理解」の割合が高くなっています。

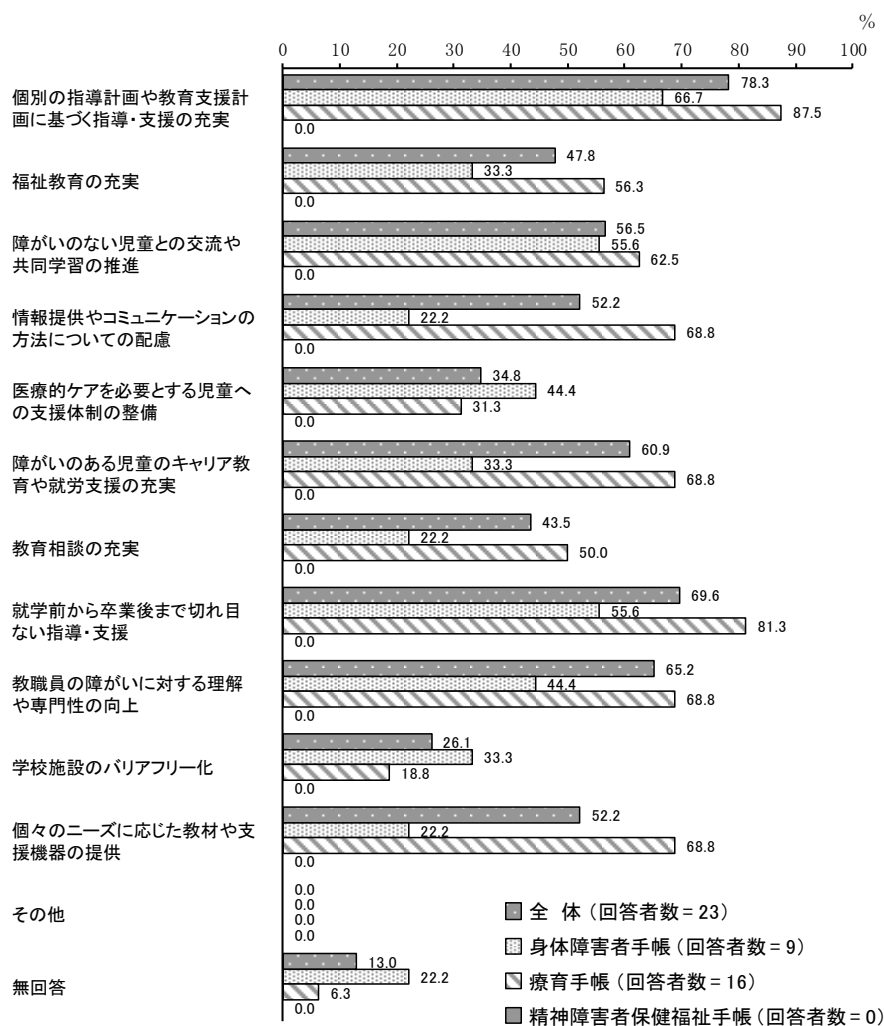


問1で「10. 特別支援学校（小中高等部）に通っている」「11. 一般の高校、小中学校に通っている」「12. 幼稚園、保育所、障がい児通園施設等に通っている」と答えた方にお聞きします。

問6 あなたは、学校などの教育現場において、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

「個別の指導計画や教育支援計画に基づく指導・支援の充実」の割合が78.3%と最も高く、次いで「就学前から卒業後まで切れ目ない指導・支援」の割合が69.6%、「教職員の障がいに対する理解や専門性の向上」の割合が65.2%となっています。

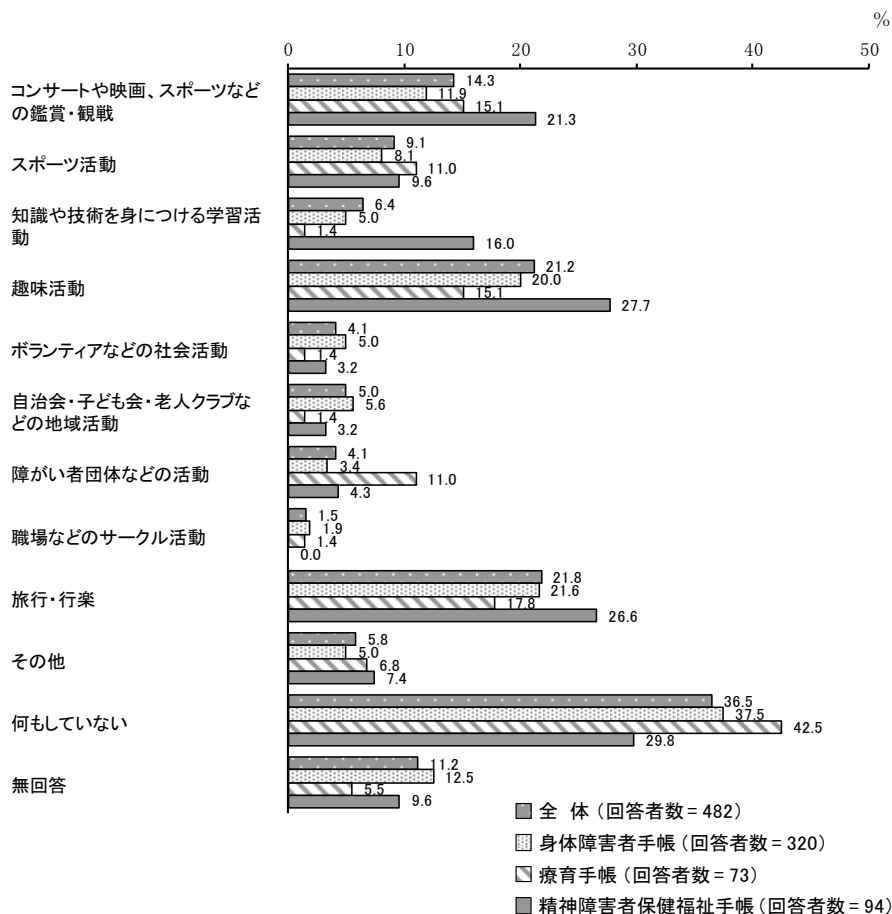
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「就学前から卒業後まで切れ目ない指導・支援」の割合が高くなっています。



問7 あなたはこの1年間に、趣味や学習、スポーツなどの活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○印)

「何もしていない」の割合が36.5%と最も高く、次いで「旅行・行楽」の割合が21.8%、「趣味活動」の割合が21.2%となっています。

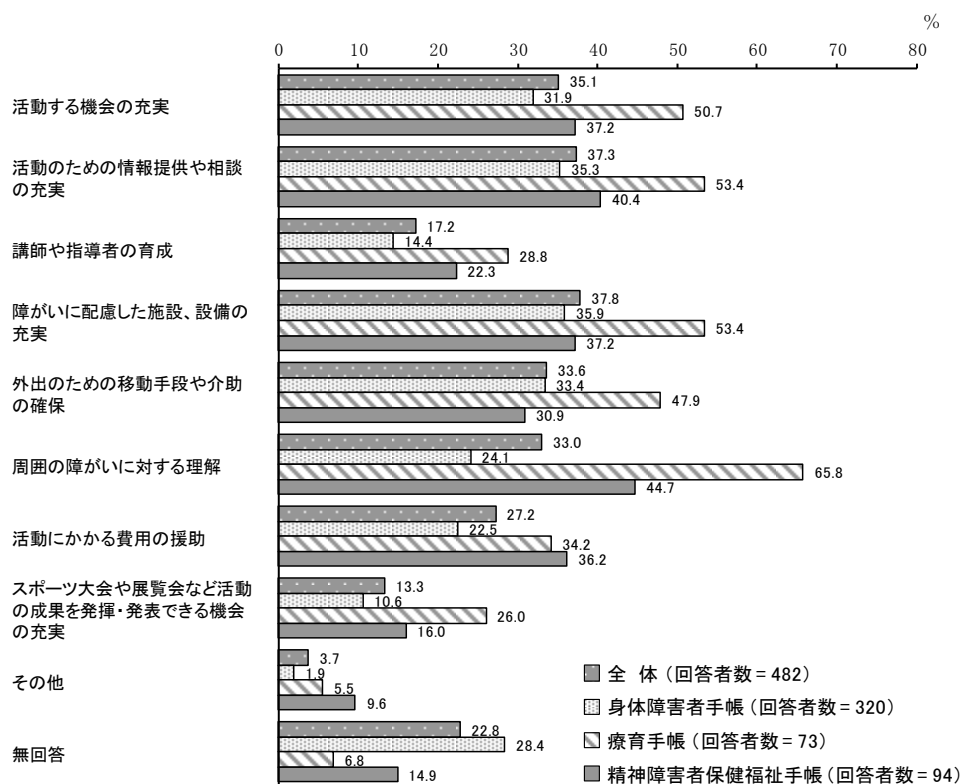
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「何もしていない」の割合が高くなっています。



問8 あなたは、障がいのある人が趣味や学習、スポーツなどの活動をするために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

「障がいに配慮した施設、設備の充実」の割合が37.8%と最も高く、次いで「活動のための情報提供や相談の充実」の割合が37.3%、「活動する機会の充実」の割合が35.1%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「周囲の障がいにに対する理解」の割合が高くなっています。

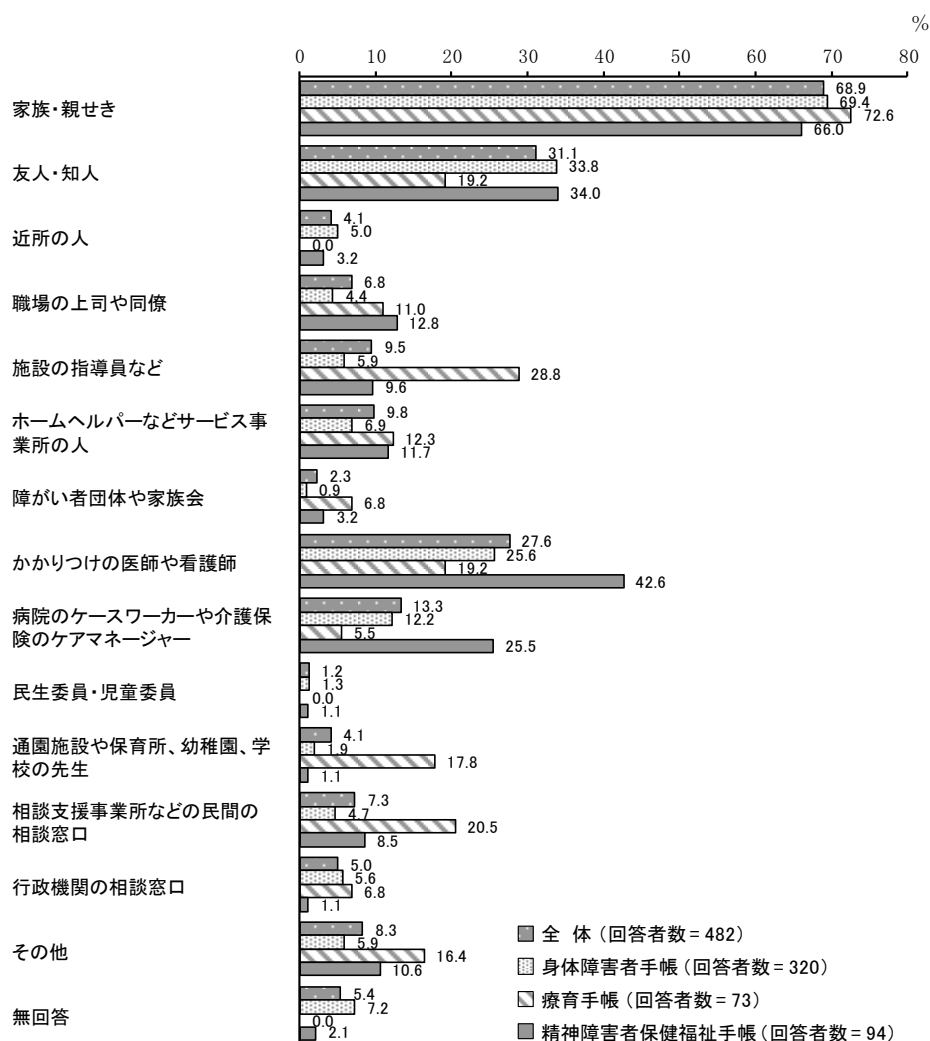


(5) 相談・情報について

問1 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○印)

「家族・親せき」の割合が68.9%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が31.1%、「かかりつけの医師や看護師」の割合が27.6%となっています。

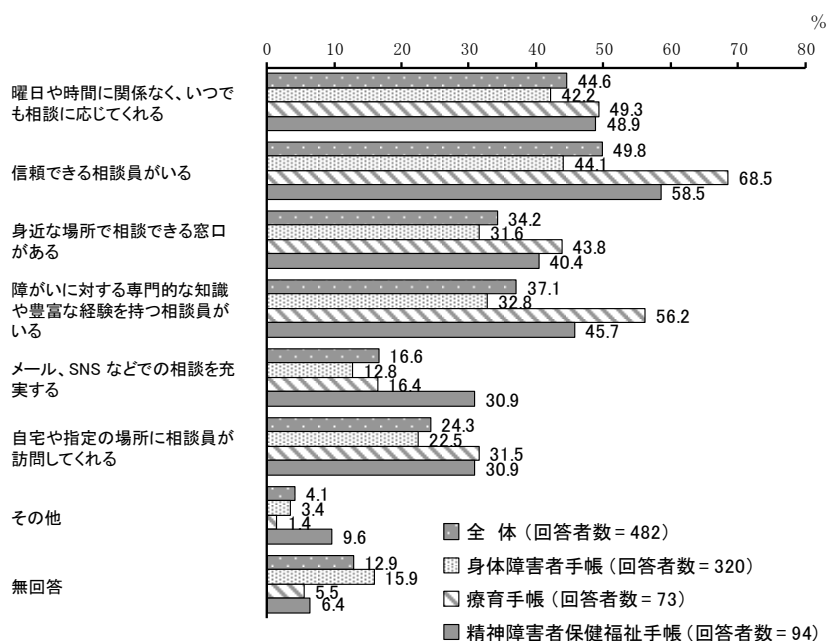
所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「施設の指導員など」の割合が、精神障害者保健福祉手帳で「かかりつけの医師や看護師」「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー」の割合が高くなっています。



問2 相談しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

「信頼できる相談員がいる」の割合が49.8%と最も高く、次いで「曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる」の割合が44.6%、「障がいに対する専門的な知識や豊富な経験を持つ相談員がいる」の割合が37.1%となっています。

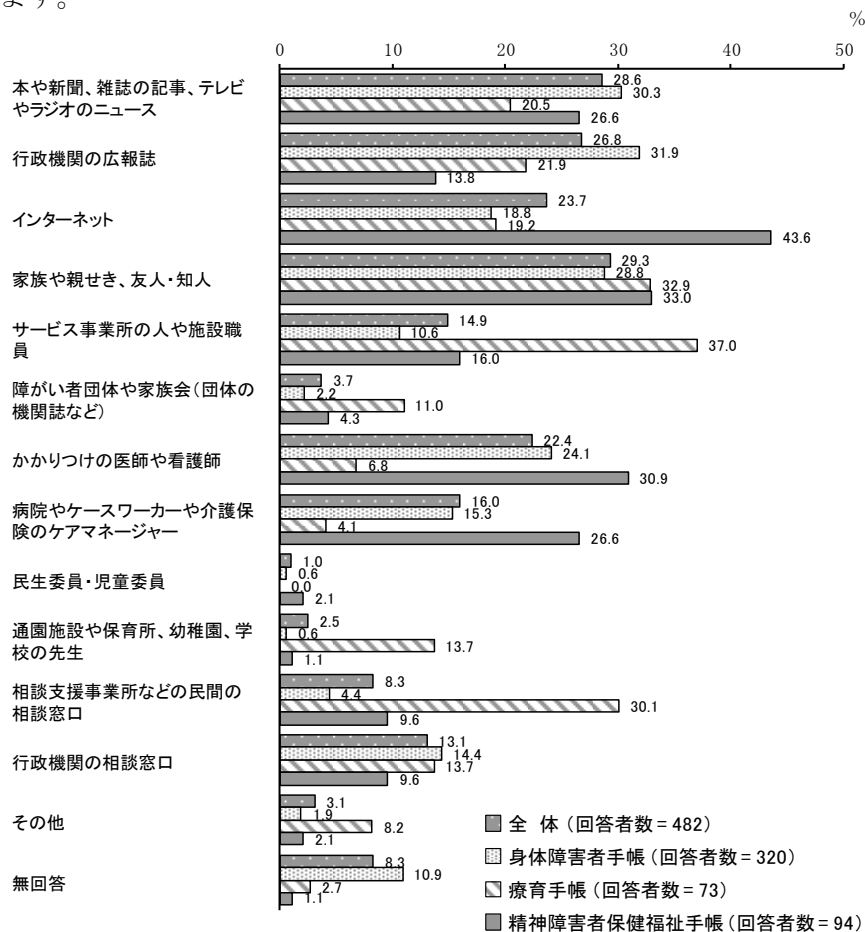
所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「信頼できる相談員がいる」の割合が高くなっています。



問3 あなたは、障がいのことや福祉サービスなどに関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○印)

「家族や親せき、友人・知人」の割合が29.3%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の割合が28.6%、「行政機関の広報誌」の割合が26.8%となっています。

所持手帳別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「インターネット」の割合が高くなっています。

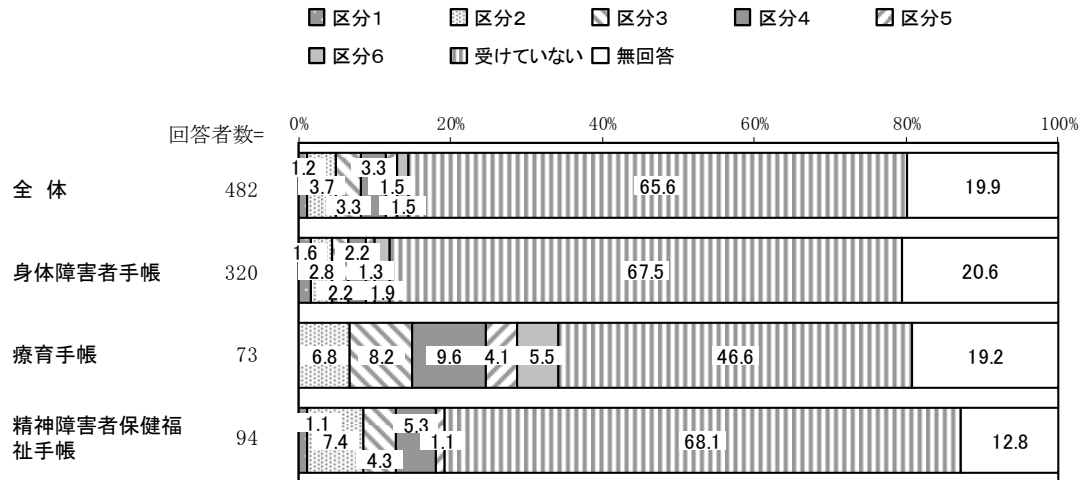


(6) 障がい福祉サービスなどの利用について

問1 あなたは障がい支援区分の認定を受けていますか。(1つに○印)

「受けていない」の割合が65.6%と最も高くなっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「受けていない」の割合が高くなっています。



問2 以下に記載のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○印)

サービスの種類	サービスの内容	
訪問系サービス	①居宅介護	自宅で、入浴や排せつ、食事の介護などを行います。
	②重度訪問介護	重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅に入浴や排せつ、食事の介護や外出時の移動の介護などを総合的に行います。
	③同行援護	視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出時に必要な情報の提供や移動の援護などを行います。
	④行動援護	知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するときに必要な介助や外出時の移動の補助などを行います。
	⑤重度障害者等包括支援	介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護など複数のサービスを包括的に行います。
日中活動系サービス	⑥生活介護	常に介護が必要な方に、昼間、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作活動の場を提供します。
	⑦自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行います。
	⑧就労移行支援	一般就労を目指して、就労に必要な知識や技術、能力の向上のための訓練を行います。
	⑨就労継続支援 (A型、B型)	通常の事業所で働くことが困難な方に、働く場の提供や就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行います。
	⑩就労定着支援	通常の事業所で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を行います。
	⑪療養介護	医療と常時の介護を必要とする方に、昼間、病院等において、機能訓練、療養上の管理、看護などを行います。
	⑫短期入所	在宅の障がい者(児)を介護する方が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。
居住系サービス	⑬自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な手助けを行います。
	⑭共同生活援助 (グループホーム)	共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。
	⑮施設入所支援	主として夜間、施設に入所する障がい者に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行います。
相談支援	⑯計画相談支援	障がい福祉サービスなどを利用している方の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画を作成し、ケアマネジメントによるきめ細かい支援を行います。
	⑰地域移行支援	住まいの確保や、地域での生活に移行するための活動に関する相談、各福祉サービス事業所への同行を行います。
	⑱地域定着支援	居宅において単身で生活している方などを対象に、常時の連絡体制を確保し、緊急時には必要な支援を行います。

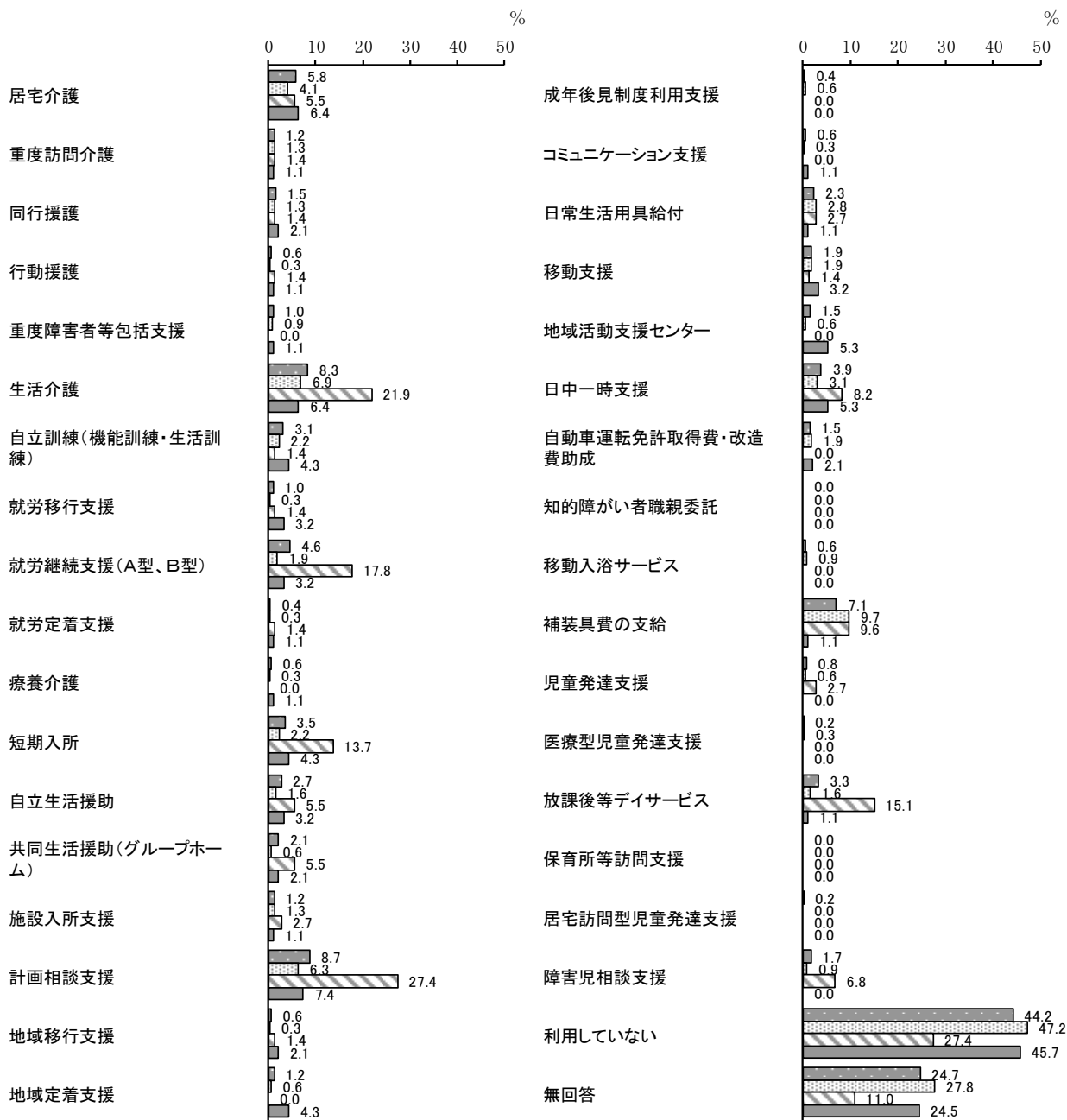
サービスの種類	サービスの内容
⑱ 成年後見制度利用 支援	知的障がいや精神障がいにより判断能力が十分でない状態にある方に対して、成年後見制度の利用を支援します。
⑳ コミュニケーション 支援	聴覚障がいなどにより、コミュニケーションに支援が必要な方に、手話通訳者や要約筆記者を派遣します。
㉑ 日常生活用具給付	日常生活上の便宜を図るため、入浴補助用具や歩行支援用具などの日常生活用具を給付します。
㉒ 移動支援	屋外での移動に困難がある方を対象に、外出のための支援を行います。
㉓ 地域活動支援 センター	創作活動や生産活動などの場を提供するとともに、社会との交流の促進を行います。
㉔ 日中一時支援	家族・介護者の急用や一時的な休息のため、日中に一時的に預かり、見守りなどの支援を行います。
㉕ 自動車運転免許取得 費・改造費助成	自動車運転免許の取得や自動車の改造をする際に要する費用の一部を助成します。
㉖ 知的障がい者職親 委託	知的障がい者を一定期間、知的障がい者の更生に熱意のある事業経営者などに預け、生活指導や技能習得訓練を行います。
㉗ 移動入浴サービス	家庭において自力あるいは家族のみでは入浴困難な方に対して、訪問により入浴サービスを提供します。
㉘ 補装具費の支給	義肢や車イス、補聴器など、障がいを補う用具の購入や修理費用を支給します。
㉙ 児童発達支援	未就学の障がい児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行います。
㉚ 医療型児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行います。
㉛ 放課後等デイ サービス	学校就学中の障がい児に対し、学校の授業終了後や夏休みなどの長期休暇中において、生活能力向上のための訓練や社会との交流の促進などの支援を行います。
㉜ 保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援を行います。
㉝ 居宅訪問型児童発達 支援	重度の障がいなどにより外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行います。
㉞ 障害児相談支援	障害児通所支援利用者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、障害児支援利用計画を作成し、ケアマネジメントによるきめ細かい支援を行います。

地域生活支援事業等

障害児通所支援等

「利用していない」の割合が44.2%と最も高くなっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳で「利用していない」の割合が高くなっています。

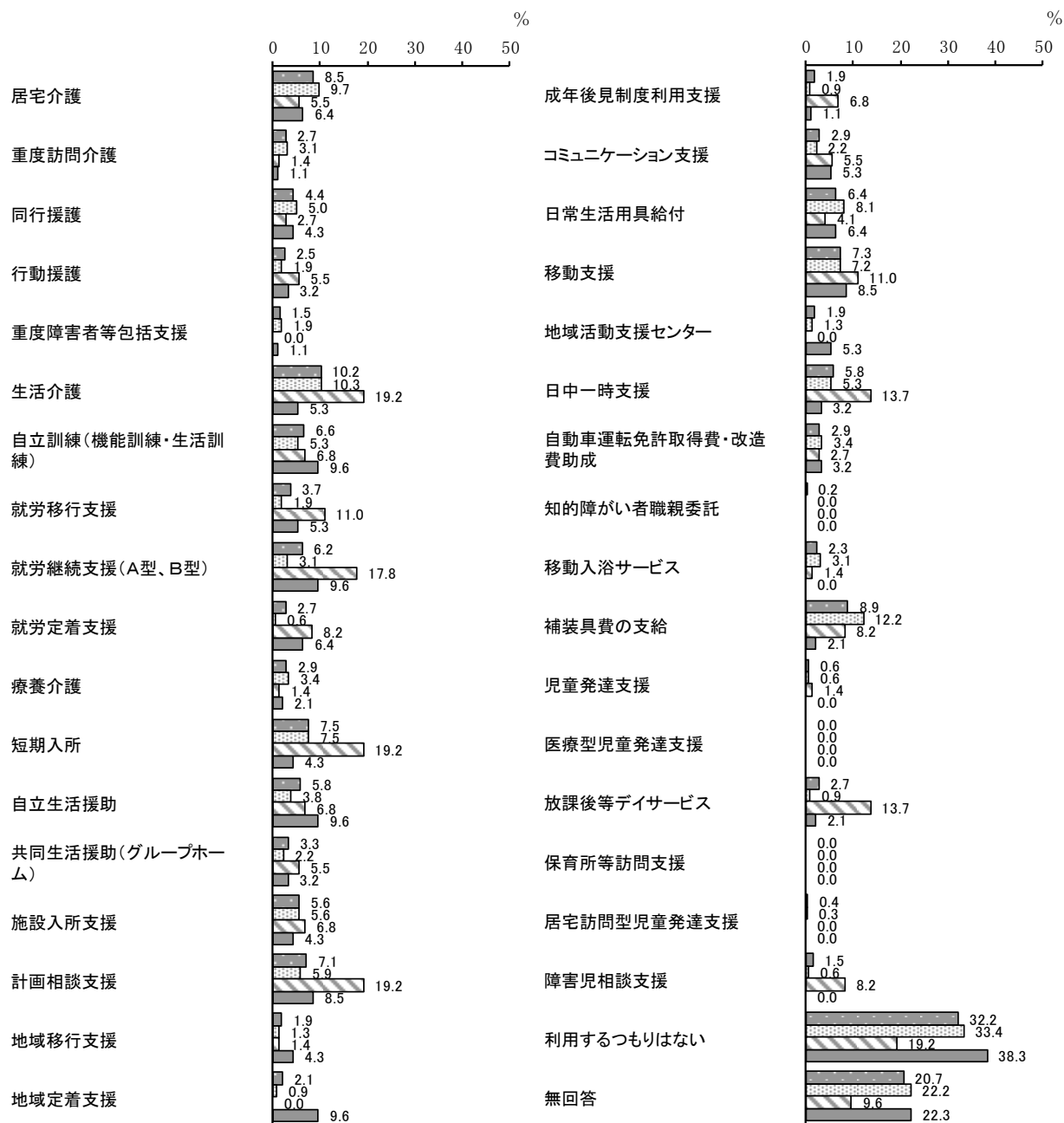


- 全体 (回答者数 = 482)
- ▨ 身体障害者手帳 (回答者数 = 320)
- ▧ 療育手帳 (回答者数 = 73)
- 精神障害者保健福祉手帳 (回答者数 = 94)

問3 現在利用している、していないにかかわらず、今後3年以内に利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「利用するつもりはない」の割合が32.2%と最も高く、次いで「生活介護」の割合が10.2%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「利用するつもりはない」の割合が割合が高くなっています。



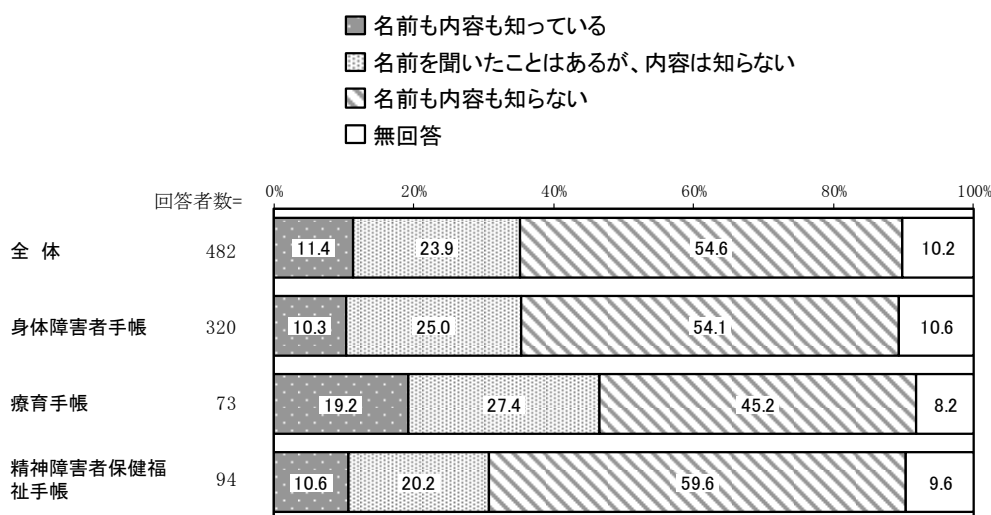
■ 全体 (回答者数 = 482)
 ■ 身体障害者手帳 (回答者数 = 320)
 ■ 療育手帳 (回答者数 = 73)
 ■ 精神障害者保健福祉手帳 (回答者数 = 94)

(7) 権利擁護について

問1 あなたは障害者差別解消法※を知っていますか。(1つに○印)

「名前も内容も知らない」の割合が54.6%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が23.9%、「名前も内容も知っている」の割合が11.4%となっています。

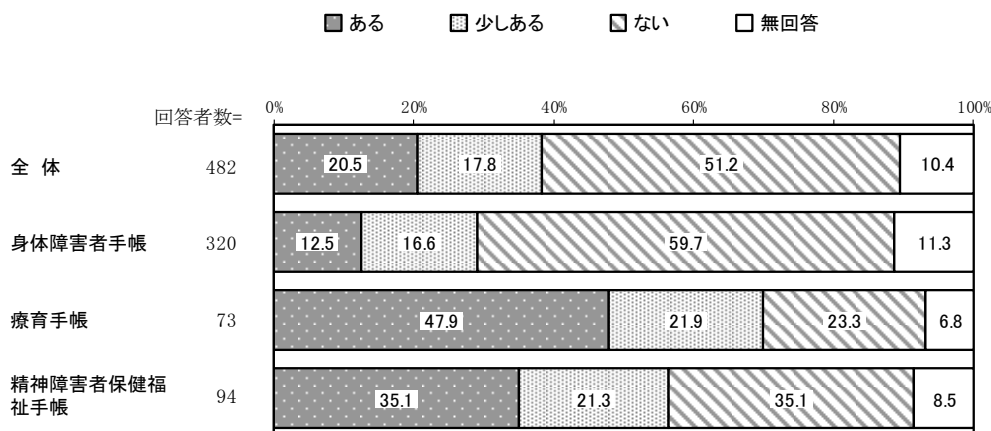
所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「名前も内容も知らない」の割合が高くなっています。



問2 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(1つに○印)

「ない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「ある」の割合が20.5%、「少しある」の割合が17.8%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、身体障害者手帳で「ない」の割合が、療育手帳で「ある」の割合が高くなっています。

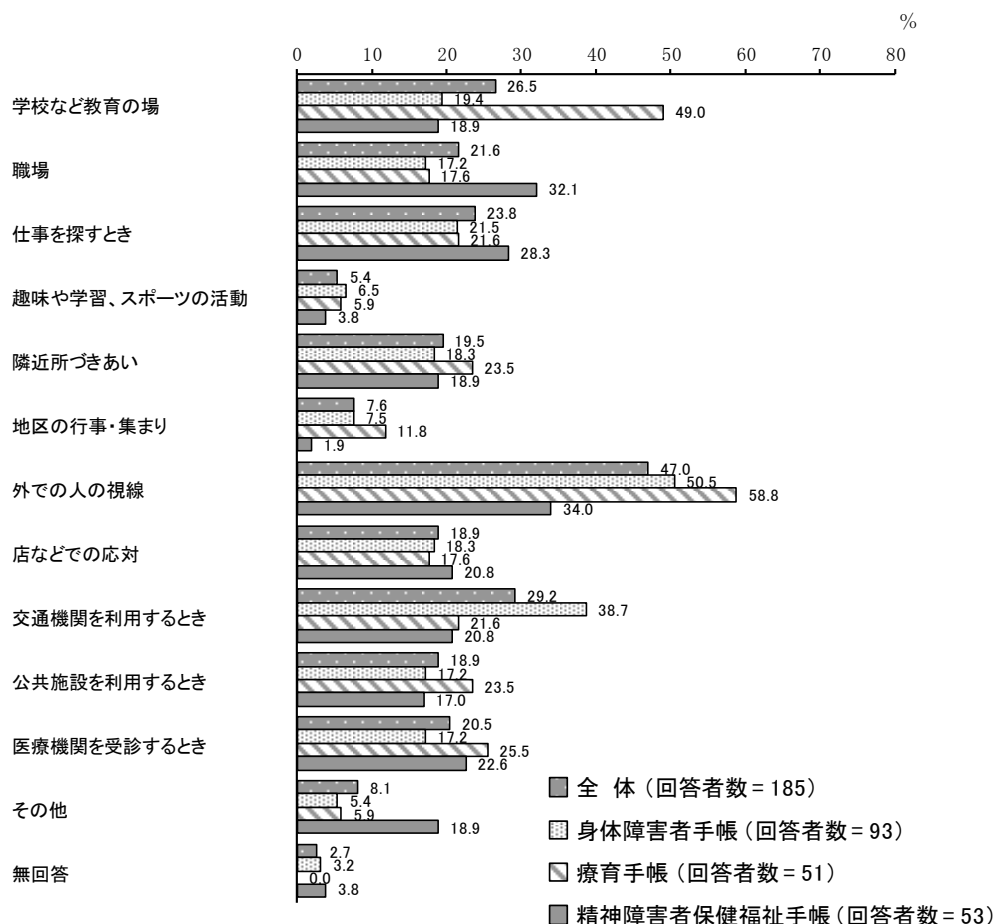


問2で「1. ある」「2. 少しある」と答えた方にお聞きします。

問3 どのような場面で差別や嫌な思いをされましたか。(あてはまるものすべてに○印)

「外での人の視線」の割合が47.0%と最も高く、次いで「交通機関を利用するとき」の割合が29.2%、「学校など教育の場」の割合が26.5%となっています。

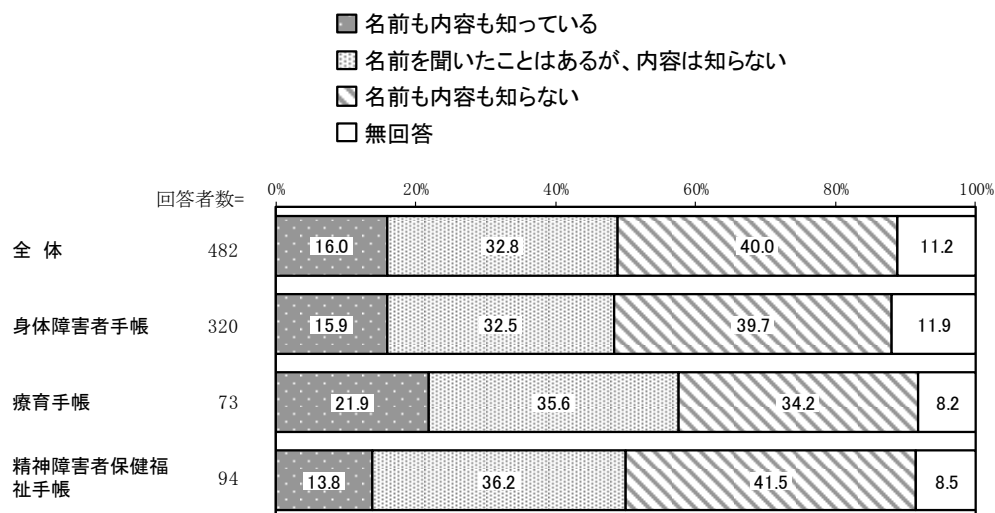
所持手帳別でみると、他に比べ、療育手帳で「外での人の視線」の割合が高くなっています。



問4 あなたは障害者虐待防止法※を知っていますか。(1つに○印)

「名前も内容も知らない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が32.8%、「名前も内容も知っている」の割合が16.0%となっています。

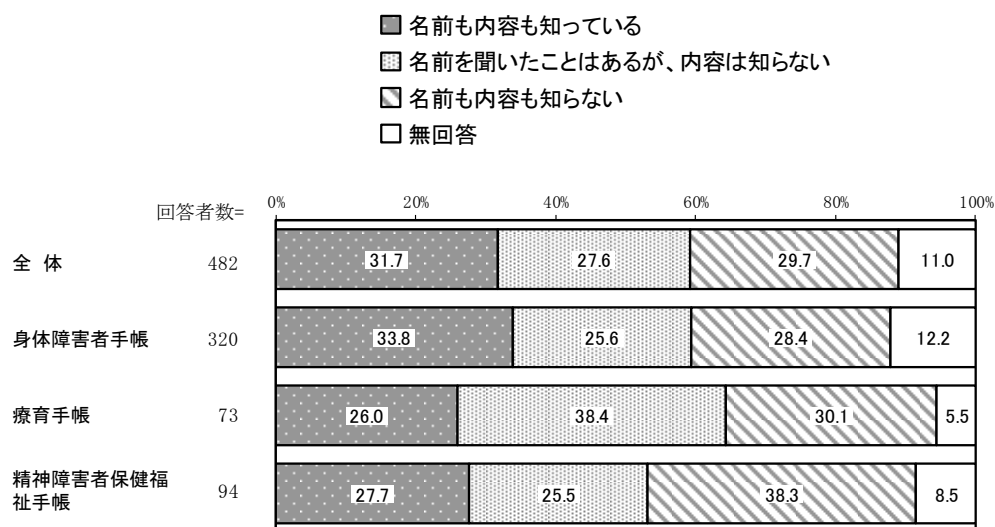
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「名前も内容も知っている」の割合が高くなっています。



問5 あなたは成年後見制度※を知っていますか。(1つに○印)

「名前も内容も知っている」の割合が31.7%と最も高く、次いで「名前も内容も知らない」の割合が29.7%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が27.6%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「名前も内容も知らない」の割合が高くなっています。

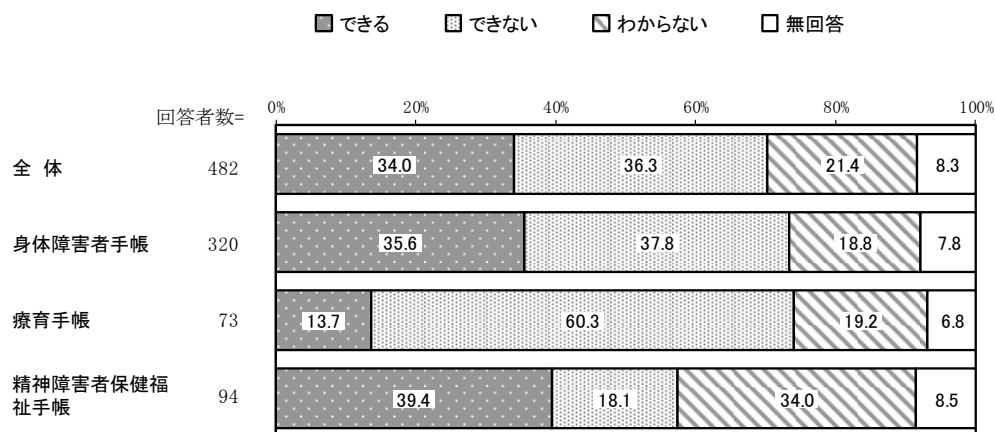


(8) 災害時の避難について

問1 あなたは風水害や地震などの災害時に一人で避難できますか。(1つに○印)

「できない」の割合が36.3%と最も高く、次いで「できる」の割合が34.0%、「わからない」の割合が21.4%となっています。

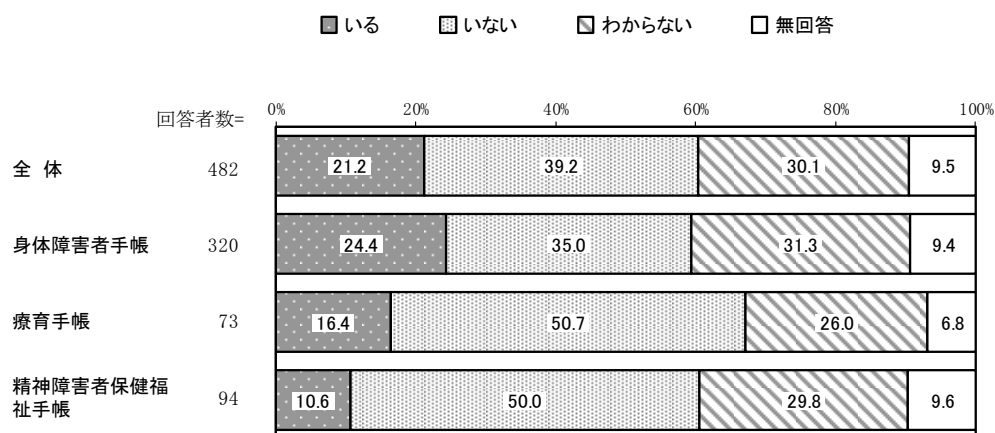
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「できない」の割合が高くなっています。



問2 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(1つに○印)

「いない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が30.1%、「いる」の割合が21.2%となっています。

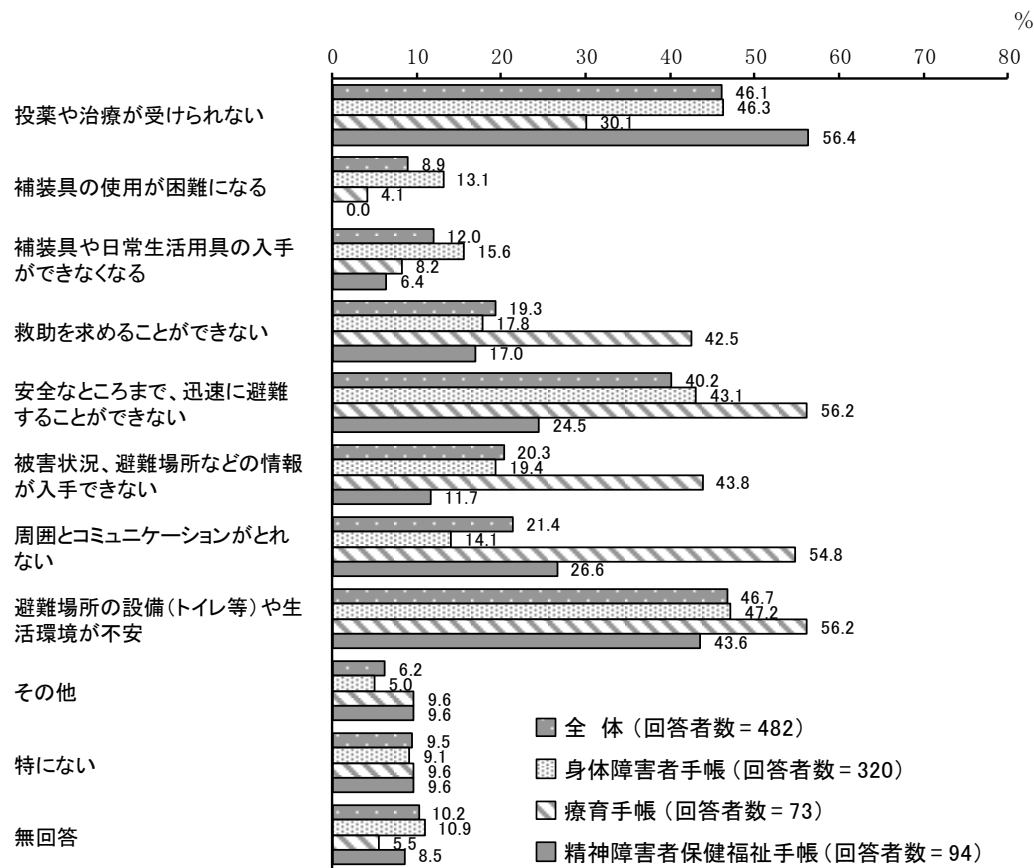
所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳で「いない」の割合が高くなっています。



問3 風水害や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が46.7%と最も高く、次いで「投薬や治療が受けられない」の割合が46.1%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」の割合が40.2%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳で「投薬や治療が受けられない」の割合が、療育手帳で「救助を求めることができない」「安全なところまで、迅速に避難することができない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「周囲とコミュニケーションがとれない」「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が高くなっています。

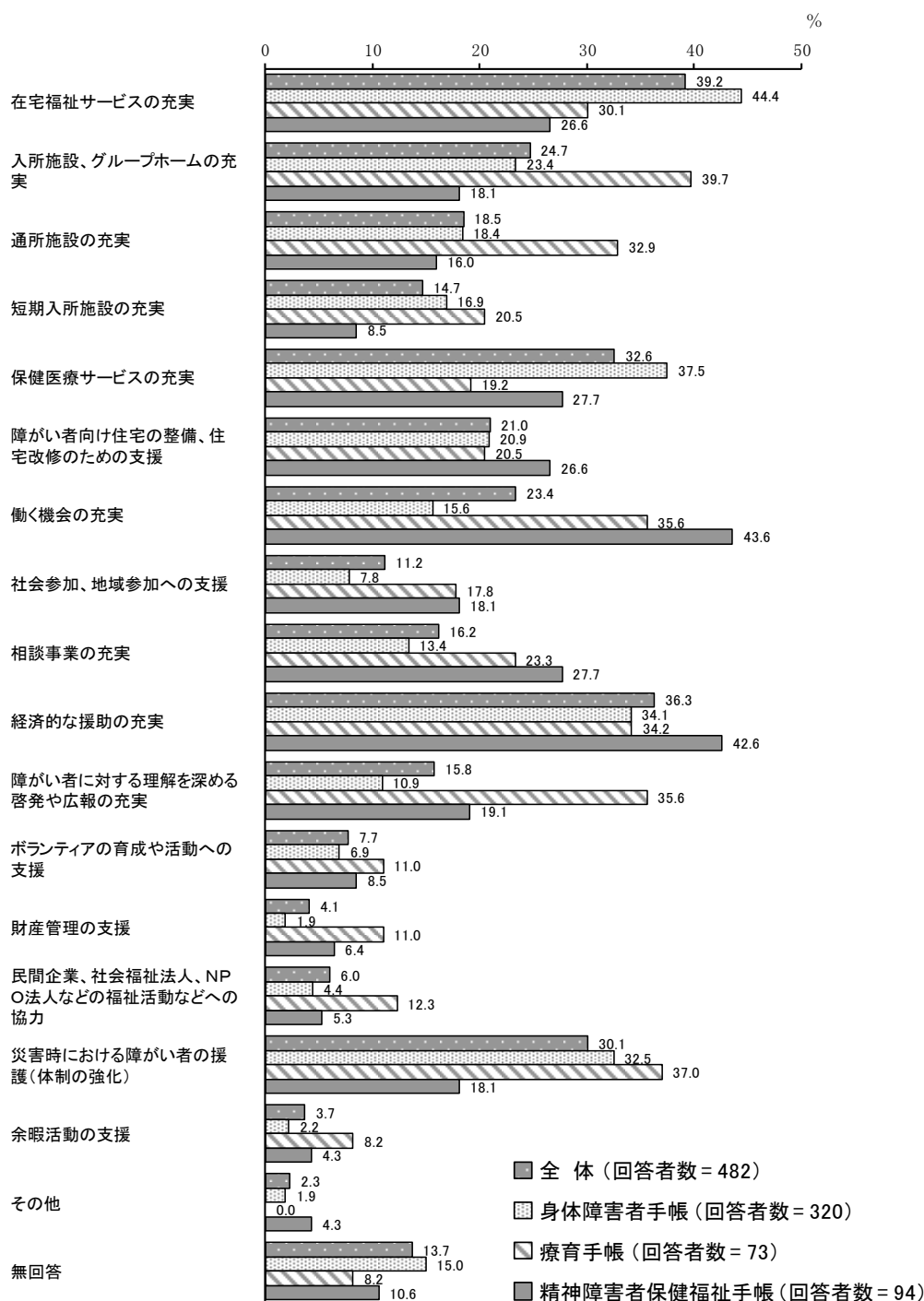


(9) 今後の障がい者施策について

問1 今後、障がいのある人が地域で暮らしやすくなるために必要なことはどのようなことですか。(あてはまるもの5つ以内で○印をつけてください)

「在宅福祉サービスの充実」の割合が39.2%と最も高く、次いで「経済的な援助の充実」の割合が36.3%、「保健医療サービスの充実」の割合が32.6%となっています。

所持手帳別で見ると、他に比べ、療育手帳で「入所施設、グループホームの充実」「通所施設の充実」「障がい者に対する理解を深める啓発や広報の充実」の割合が、精神障害者保健福祉手帳で「働く機会の充実」「経済的な援助の充実」の割合が高くなっています。

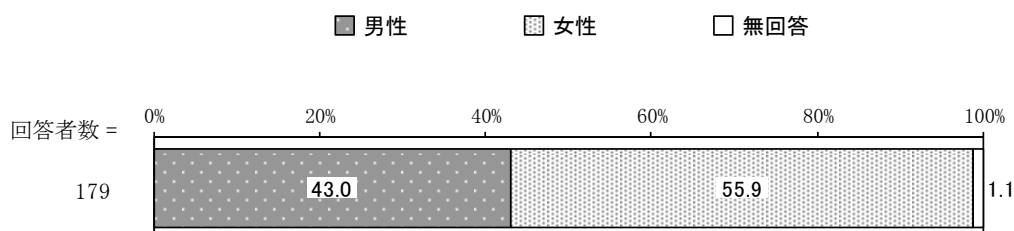


2 市民

(1) 回答者属性

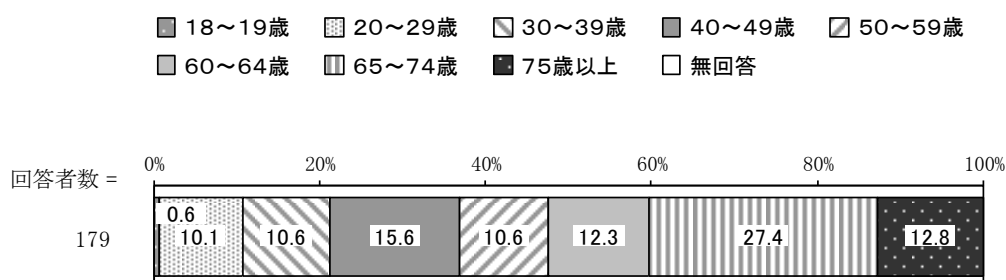
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「男性」の割合が43.0%、「女性」の割合が55.9%となっています。



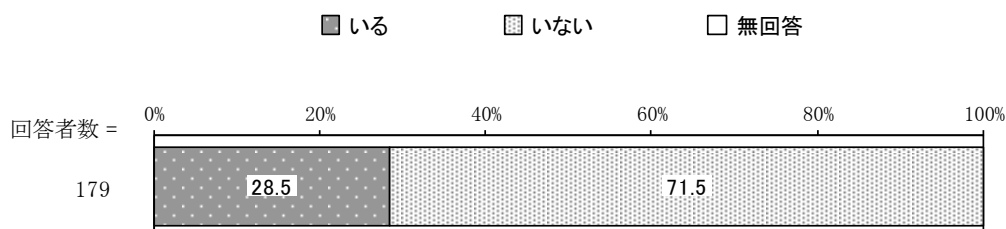
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

「65～74歳」の割合が27.4%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が15.6%、「75歳以上」の割合が12.8%となっています。



問3 あなたの身近に、障がいのある人はいますか。(1つに○)

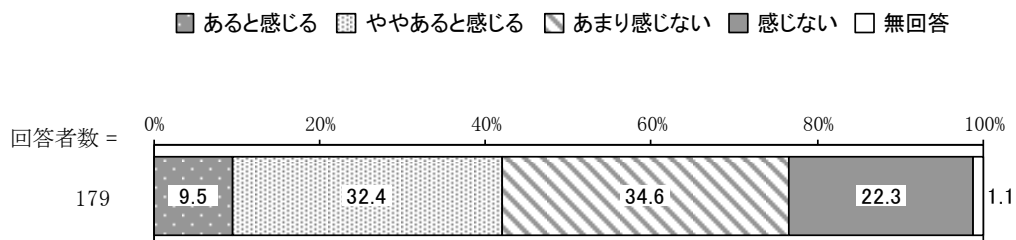
「いる」の割合が28.5%、「いない」の割合が71.5%となっています。



(2) 障がいのある人とのかかわりについて

問4 地域において障がいのある人に対する差別や偏見を感じますか。(1つに○)

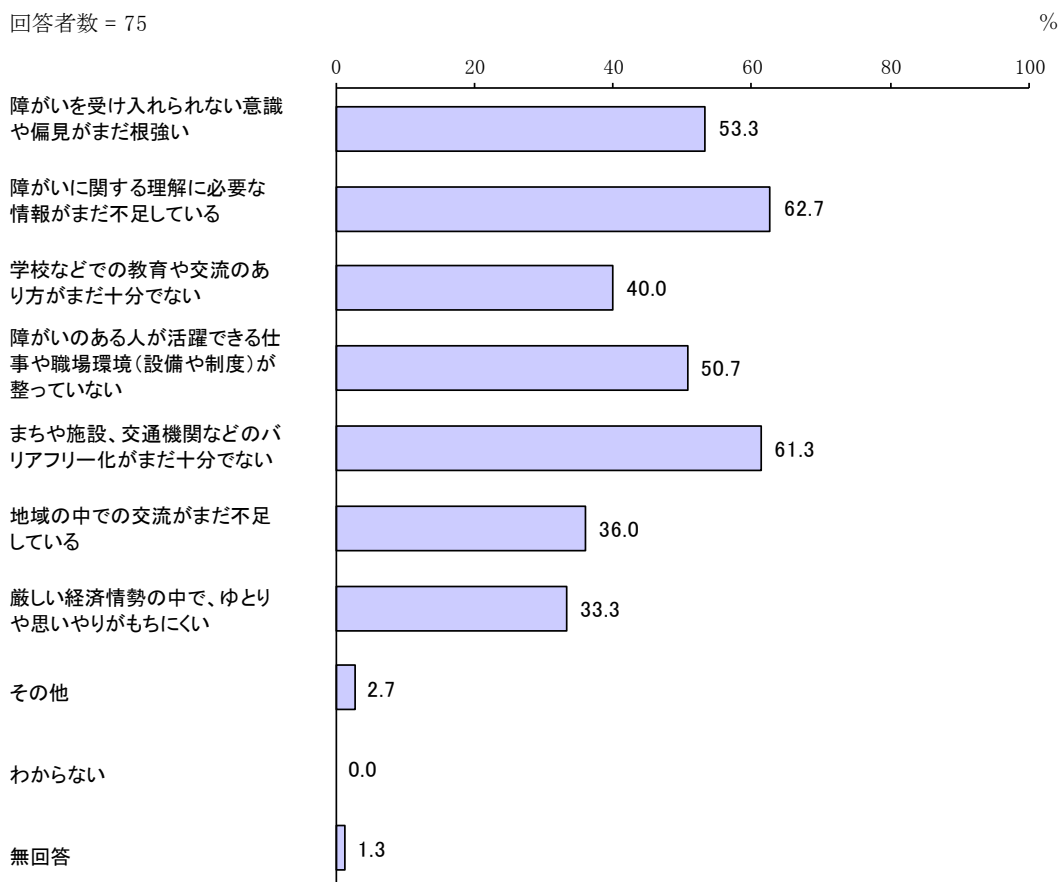
「あると感じる」と「ややあると感じる」を合わせた“感じる”の割合が41.9%、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の割合が56.9%となっています。



問4で「1. あると感じる」「2. ややあると感じる」と答えた方におうかがいします。

問5 あなたは、障がいに対する差別の解消が進みにくい理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

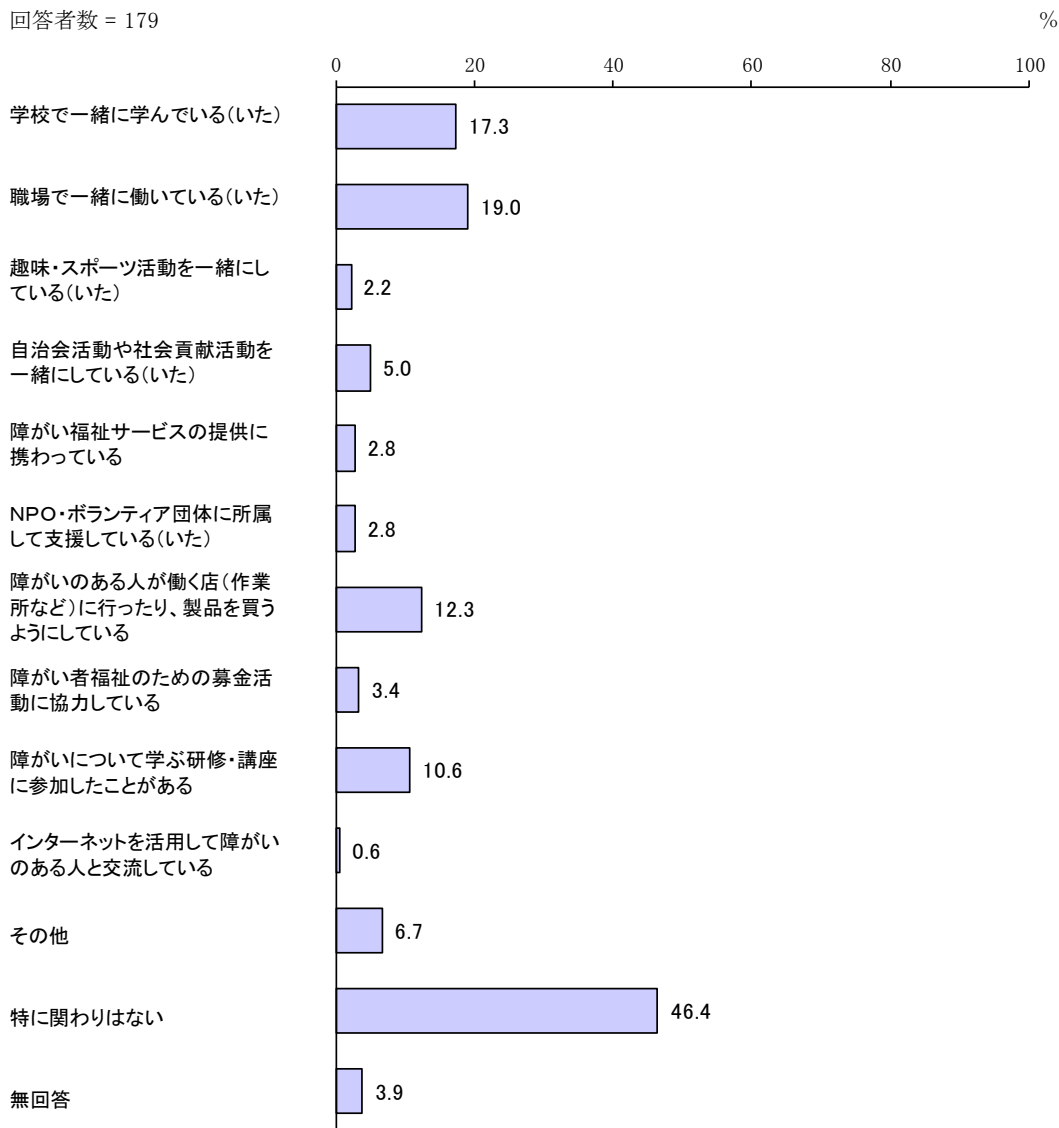
「障がいに関する理解に必要な情報がまだ不足している」の割合が62.7%と最も高く、次いで「まちや施設、交通機関などのバリアフリー化がまだ十分でない」の割合が61.3%、「障がいを受け入れられない意識や偏見がまだ根強い」の割合が53.3%となっています。



問6 あなたは、障がいのある人（ご家族以外）とどのように関わっていますか。（あてはまるものすべてに○）

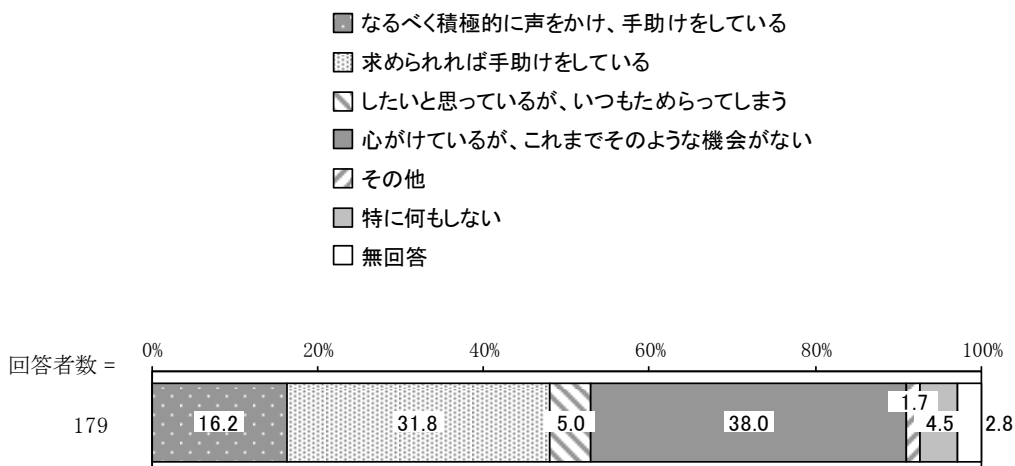
「特に関わりはない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「職場で一緒に働いている（いた）」の割合が19.0%、「学校で一緒に学んでいる（いた）」の割合が17.3%となっています。

回答者数 = 179



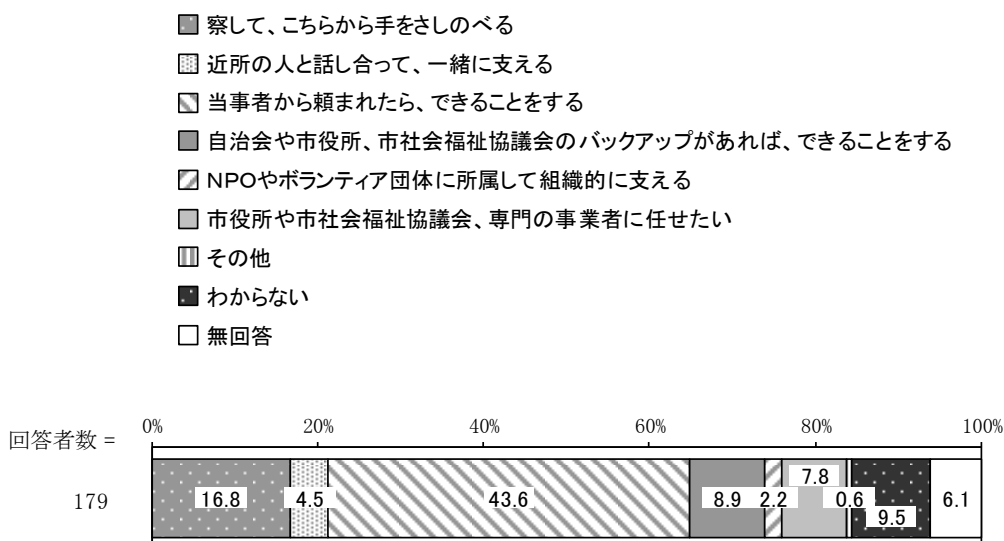
問7 あなたは、障がいのある人が困った様子でいるときに手助けをしていますか。(1つに○)

「心がけているが、これまでそのような機会がない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「求められれば手助けをしている」の割合が31.8%、「なるべく積極的に声をかけ、手助けをしている」の割合が16.2%となっています。



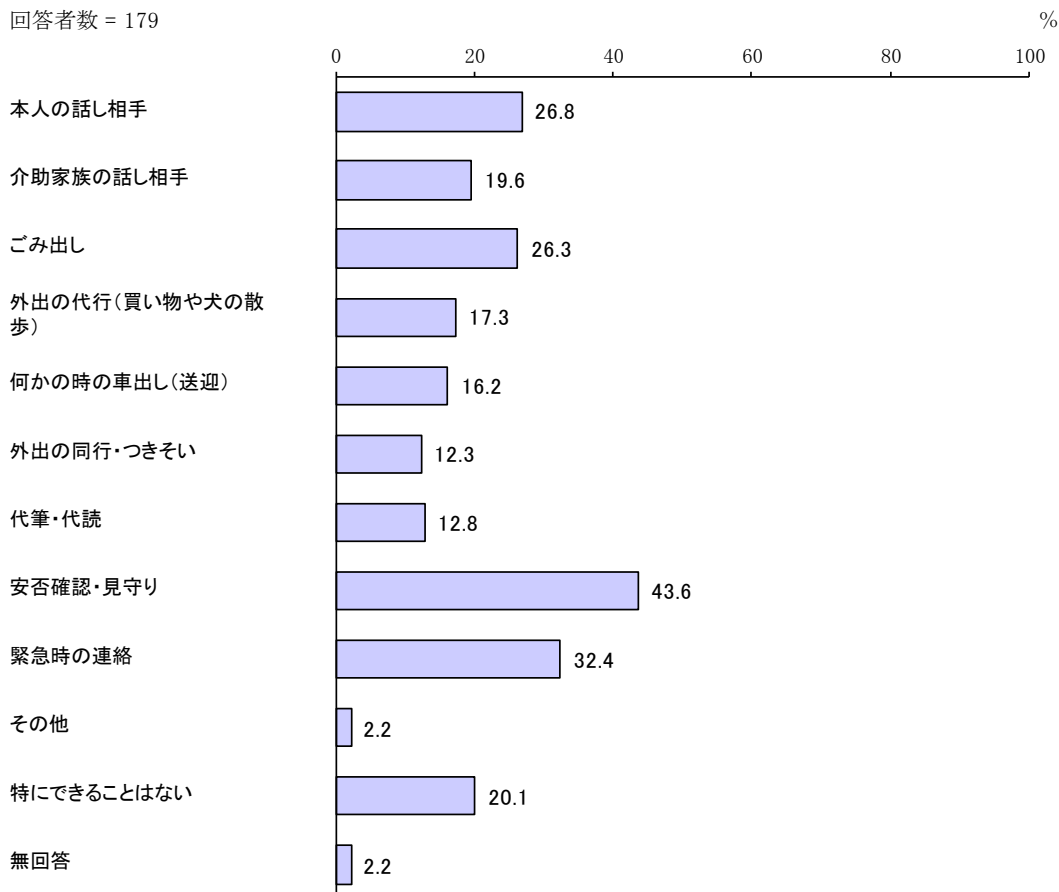
問8 あなたが障がいのある人に介助・支援しやすいのはどんなかたちですか。(1つに○)

「当事者から頼まれたら、できることをする」の割合が43.6%と最も高く、次いで「察して、こちらから手をさしのべる」の割合が16.8%となっています。



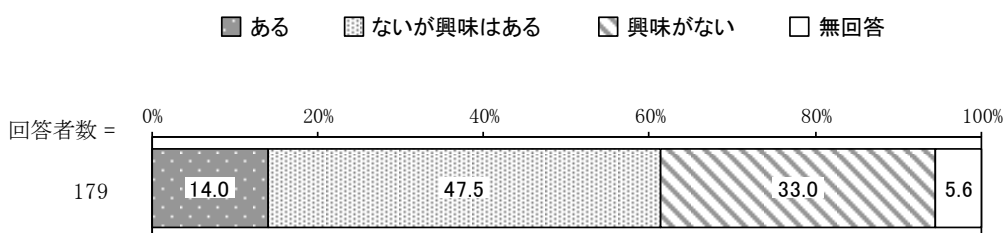
問9 あなたは日頃の生活の中で障がいのある人にどのような支援ができますか。(あてはまるものすべてに○)

「安否確認・見守り」の割合が43.6%と最も高く、次いで「緊急時の連絡」の割合が32.4%、「本人の話し相手」の割合が26.8%となっています。



問10 あなたは障がいのある人に関するボランティア活動をしたことがありますか。(1つに○)

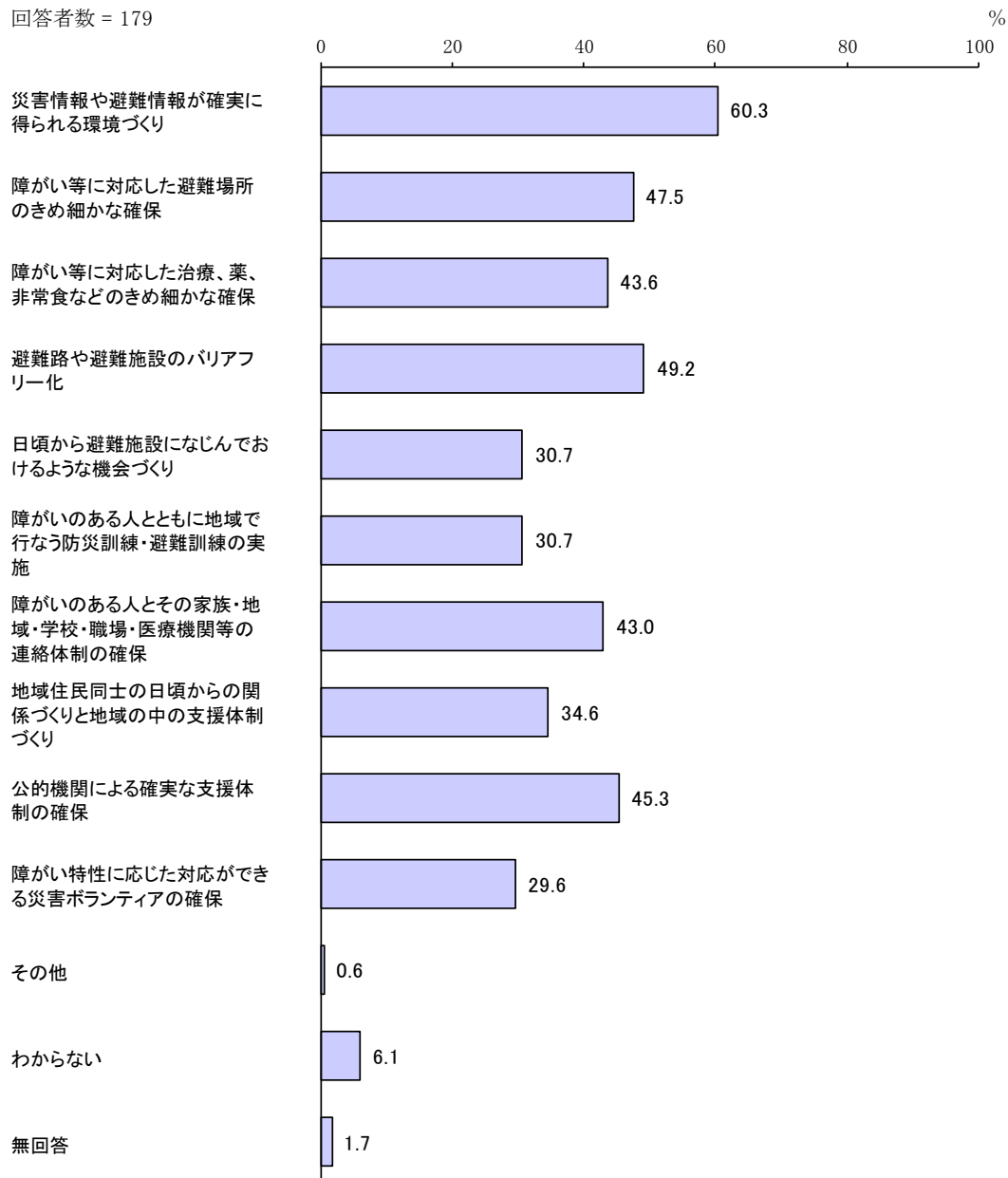
「ないが興味はある」の割合が47.5%と最も高く、次いで「興味がない」の割合が33.0%、「ある」の割合が14.0%となっています。



問 11 あなたは、障がいのある人の災害時の避難について、市や地域にはどんな支援や配慮が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

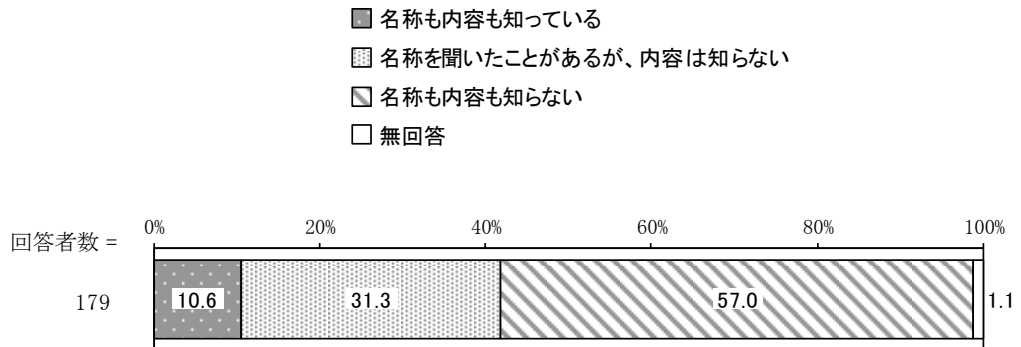
「災害情報や避難情報が確実に得られる環境づくり」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「避難路や避難施設のバリアフリー化」の割合が 49.2%、「障がい等に対応した避難場所のきめ細かな確保」の割合が 47.5%となっています。

回答者数 = 179



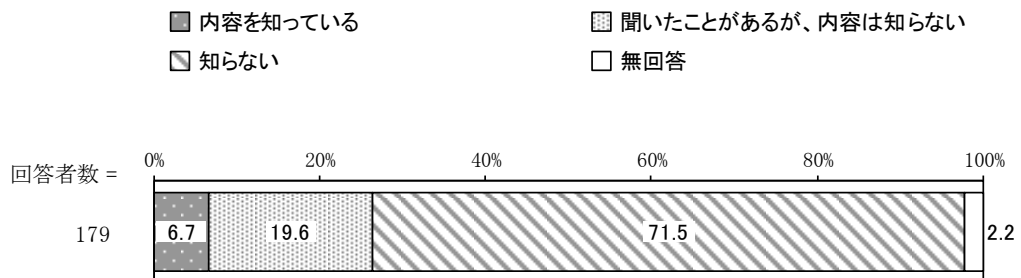
問 12 あなたは「障害者差別解消法※」について知っていますか。(1つに○)

「名称も内容も知らない」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 31.3%、「名称も内容も知っている」の割合が 10.6%となっています。



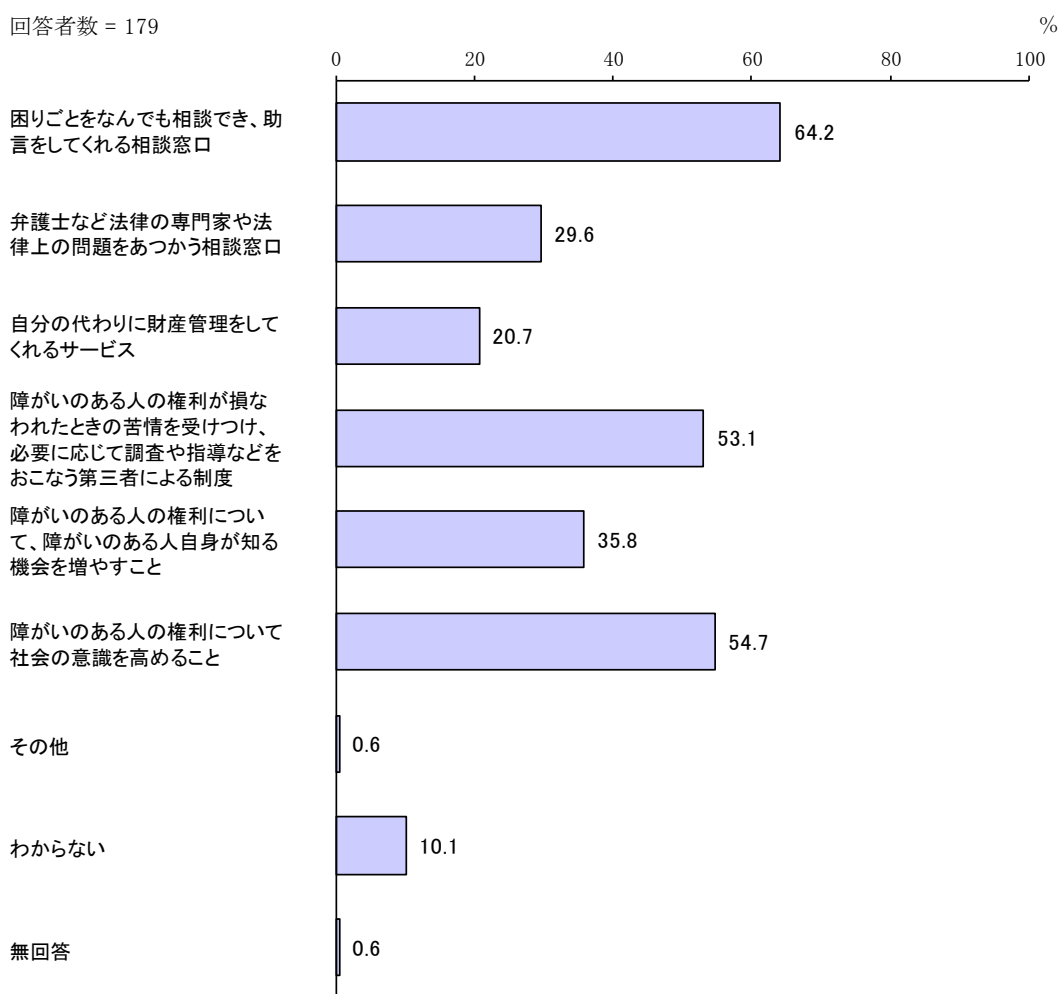
問 13 あなたは障害者差別解消法で求められる「合理的配慮」について知っていますか。(1つに○)

「知らない」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が 19.6%となっています。



問 14 あなたは障がいのある人の権利が奪われたり、損なわれないようにするために、どのような手助けや取り組みがあるとよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

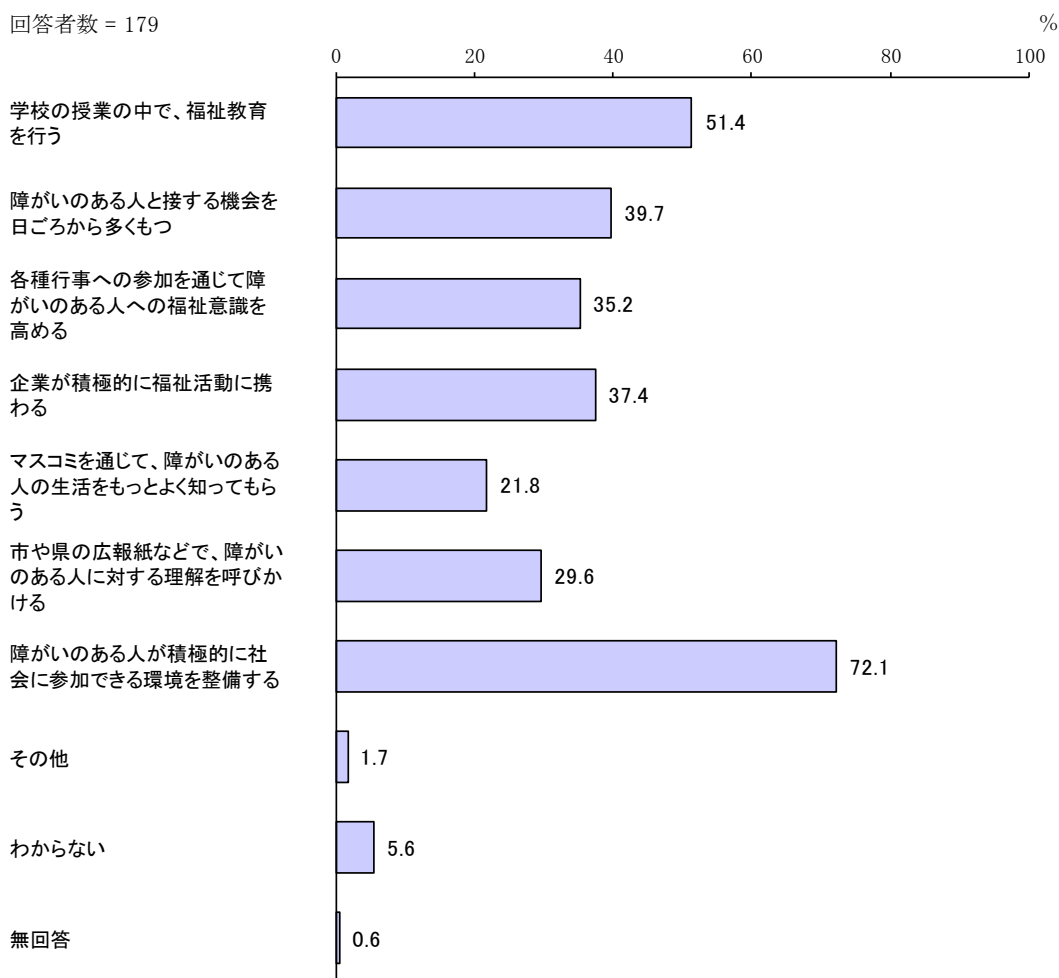
「困りごとをなんでも相談でき、助言をしてくれる相談窓口」の割合が64.2%と最も高く、次いで「障がいのある人の権利について社会の意識を高めること」の割合が54.7%、「障がいのある人の権利が損なわれたときの苦情を受けつけ、必要に応じて調査や指導などをおこなう第三者による制度」の割合が53.1%となっています。



(3) 障がい者施策について

問 15 障がいのある人が社会参加をするためには、何が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「障がいのある人が積極的に社会に参加できる環境を整備する」の割合が 72.1%と最も高く、次いで「学校の授業の中で、福祉教育を行う」の割合が 51.4%、「障がいのある人と接する機会を日ごろから多くもつ」の割合が 39.7%となっています。



問 16 あなたは、障がいの有無に関わらず、安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進めるために、何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「医療・福祉・教育・就労などの一体的なネットワークづくり」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「働いて自立できる環境づくり（就労支援の充実）」の割合が 55.3%、「まちや施設のバリアフリー化の推進（障害物を置かないなど）」の割合が 48.0%となっています。

回答者数 = 179

